

# 今月の言葉

昨日中曾根前総理の国会挨拶が終つた。多くの国民が様々な思いで見つめたことであろう。ようやくこれでリクルート事件もカタがつく。疑惑はますます深まつた。・・なんと下らぬ茶番劇であるとか、衆愚政治も窮まれり。・・前代未聞の繁榮の傍でこの政治レベルが何よりも理解すればよいのか。これこそが平和と繁栄の象徴ですといふことなのか、なんとも後味の悪いことである。野党議員も前総理を白州に引き出してもほんのひときわ大顔両前席など見て笑をきいて、所詮同じ穴のむじなどいう感じを越えられぬもどかしさ、どこに本当の問題があるのだろう？私はかねがね、今の世の中には政治権力と財政権力は、それ以上の方力を支持する大マスク、権力者がいる。それが存在し、互いの力を支配する間に置こうとする闇争のなかで私が一般市民が利用され、愚弄されているような気氛

がしてならない。国家は本来権力によつて支えられるものであるから、政治の世界に権力感の高いをかぎつけてもさうたる遠感は感じない。そしてまた今の自民党的政治家がいはうるほど権力にあらをかきふん反り返つてゐるのも思わない。選挙の洗礼を潛り抜けるための慘めで涙ぐましい努力を見ていると、哀れは戦後民主主義と言論の自由に手厚く

國会の混迷に思う

## 警視庁機動隊創設41周年記念



## 発行所

社団法人 機動隊昇等を勧めます会  
東京都大田区仲六郷4-32-7  
〒144 五十鈴ビル2階  
発行人 鈴木 實  
TEL 03(739)0590  
購読料 年間1,200円(送料共)  
(但し会費の中には購読料を含む)

監を観閲官に、式典は開会宣言、受<sup>受け</sup>報告、部隊査閲そして隊員三千二百名の分列行進へと続いた。警視庁音楽隊の重厚な行進曲と共に規律のとれた隊員の足音が空高くこだました。隊員達の気迫に満ちた姿はさすがに堂々たるものであつた。様々な警備用車両、察犬、ヘリコプターも参加し、最後に青空の中を警視庁飛行船「はるかぜ」が会場上空を飛行し、参加者からも歓声が上がつた。分列行進終了後、機動隊の勇姿を査閲した大堀警視総監はつぎの様な訓示を述べられた。

「隊員諸君の威風堂々の部隊行動を目のあたりにし、誠に心強くかつ頼もしく感じる。先に行われた「昭和天皇大喪の礼等に伴う警衛、警護、警備」では数多くの重要な課題に直面したが、

諸君は旺盛な士気と使命感のもと、一糸乱れぬ団結により、立派にその任務を遂行し、世界に冠たる警視庁機動隊の名をさらに光輝あるものとした。今日の治安情勢は、めまぐるしく変転する社会を背景に様々な分野に不安定要素がうかがわれ、いささかも警戒をゆるがせにできない。極左暴力集団の悪質巧妙なテロ、ゲリラ事犯、右翼左翼等こうした情勢を反映して、機動隊諸君に寄せる国民、都民の期待はますます高くなり、その責務もいよいよ重大さを増しているのである。諸君は、一人ひとりが現下の厳しい情勢をよく認

い、その責務を全うしていただきたいたい。  
「昭和天皇大喪の礼」の警備完遂に關しても、諸君の努力により内外の高い評価を得たが、この警備を成功に導いた背景に国民の深い理解と絶大なる協力があつたことを忘れてはならない。そのためには現状におごることなくさらに教養訓練を重ね、相手の気持ちや痛みの判る血の通つた人間機動隊としての実力を身につけ、適切な諸活動を推進して欲しい。」

大堀警視総監訓示の後、隊員全員による「出動の歌」が齊唱された。その後観閲終了報告、閉会宣言で閉会となつた。

正に伝統と警備力の威容を感じる觀閲式であつた。今後いかなる事態にも我等が機動隊の隊員らは応えてくれるであろう。

も即応できる警備体制づくりができる  
ように、編成されたのである。  
各道府県管区機動隊は、管区警察局  
(東北、関東、中部、近畿、中国、四  
国及び九州)の管轄区域ごとに、各管  
区機動隊として連合編成されている(北  
海道にあっては単独編成で、北海道警  
察警備隊)。

管区機動隊員は、平素においては、  
出動や訓練のしやすい形で重要な警察  
署などに配置され、これらの隊員を事  
案発生及び訓練の都度管区機動隊とし  
て招集している。

管区機動隊は、他の都道府県への応  
援出動に従事するほか、各管区ごとに  
合同訓練を行い、その練度の向上と維  
持に努めている。また、それぞれの所  
属する各道府県内においても、警備活  
動をより交通改善(、暴行又は略)

# 有事即応——創設20

周 年 管 区 機 動 隊

有事即應——創設 20 周年管區機動隊

たが、「リクルート」政治家が反省がない程度のものではなくまさに唖然とさせられたが、外部への手先になるように日本のマスクが一部がしぶしぶとその実態を認めていく。度のものではなくまさに唖然とさせられていたが、外部への指摘があるようになるとまで言わなくとも、単純に公正なることが日本国民をして、国際社会には毛頭通用しない無菌室でしか通用しないような倫理感の持ち主にしてしまうことは、國を危うくする行為以外のものではない。私達は情報文化社会といわれる時代に生きているが、本当に知らなければならないればならないが、それを知らない人が、誤りを教える。報道に象徴されるような報道で知らず知らずの間に毒されているのかもしれない。こういう時期にこそ、人の世の原理原則を振り返り、自分自身の本性を全く見直さなければいけない。これが、つまりはならない。(自見 滝浦)

成人の年をむかえ更に充実 などの警察各般の活動に従事している。十年前に、創設十周年記念式典が各管区毎に開催されたが、今年は大費の礼の警備等重大警備を完遂するためには全力をそいだこともあり、華々しい記念式典は行われてはいないが、二十年という人間にたとえても成年の年を迎える、更に警備の充実にと各管区共に意気高々である。

管区機動隊健在。各都道府県機動隊とのチームワークと連携の良さを發揮して、これから活動を更に期待するものである。





# 読者の 広場



わがふるさと

飯田正雄

ふるさと論議が、竹下総理の提唱もあって取りざたされていましたが、政局の推移と共に下火になつてくるのでしょうか。

まれ育ち、物心について幼児期、少年期、青春時代の入口位までの人生で、人格形成に大きな影響を受けた地域社会がふるさとだと私は思っています。麻生博先輩が、先日この欄に「昭和と私」と題して健筆をふるつておられましたが、麻生先輩より十年近く後に生まれた同じ時代環境を生きてきましたが、私にとってふるさとははどうしても三ヶ処になってしまします。

第一は生まれ故郷、中国の無頼です。この

街で小学校二年迄暮らしましたので、かなりな記憶があり、約四十年ぶりに訪問した時、

迷うことなくかつて住んでいた家を一軒尋ね

あてることかできました昭和十一年の春  
日本に帰り、本籍地である大分県の農山村で

小学校を卒え、中学二年迄暮らしましたので、

豊かな山や川にいろどられた第二のふるさとができました。昭和十七年の春から十九年の

秋、海軍航空隊に入隊するまで再度中国に渡

り、残留孤児で必ず名前が出てくるハルピン  
『中学後半』過ごしまへこの『二、明間は豆、

で中止待合を過ごしましたので、期間は短いのですが、ハルピンは私のふるさとから外す

わけにはまいりません。こんなことで三ヶ処

のふるさとを持つております。今となつては大変  
得難い貴重な体験をしたことを行ひ難く思つ

ております。

撫順は露天掘りで有名な石炭の街であり、今日中国の有力な工業都市になつておりますが、日清、日露戦争以来日本が満州地方の中

Safety. 即ち Service Sanitary

サービスについては説明の要はないが、衛生面については、肝炎、黄熱病、コレラ等の

3

井上浩之

## 警視庁機動隊創設41周年記念観閲式



# 信頼の機動隊

(株)上野百貨店 大東港運(株) 姫田清美 廣慶太郎  
国見山(株) 岡谷鋼機(株) 豊田通商(株)  
鳩澤ヤーリング工業(株) 藤田金属(株)  
内外運輸(株) 株式会社次郎商店  
自見産業(株) 東北支部

# 今月の言葉

最近の世相の中で色々なところで、男女問題が色濃く反映されており、金では日本社会に根深く残る男女差別意識に原因があると片付けられる風潮である。

私は父親が満鉄に勤めていた関係で、北

京市で小学校(国民学校)を卒えた。敗戦後の引揚げは満州やその他の地区と違つて比較的恵まれた環境の中で帰国することができた。然し、それでも嚴寒の天津市でのアンペラ小屋収容所からリュックサック一つで引揚船へ乗船できた時は両親兄弟と共に無事を喜び合つたものであつた。米軍の上陸用舟艇の船艤は、た

だ広いだけで、三月の海風は冷たく、船底に積み込まれた何千人という引揚者は、家族單位で組みこまれた軍隊流の小隊中

を寄せ合つて故郷の日本へ帰れる嬉しさでいっぱいの表情であった。

敗戦直後の閻門海峡は機雷の危険水域で、乗船の際コルクが入った救命道具が一家に一ヶ支給され、接雷事故の場合の避難方法について何回も指示を受けた。その晩といつても全員が寝静まつた深夜の三時頃であったと思う。突然ガ

# 男 と 女 も の

安心のタメイキとワードという歓声があがり、その場にへたりこむ人達が大部分であつた。その時、中年の女性が金切り声で「うちの父ちゃんどこへ行つたの！」とぐつたりとした赤ん坊を抱えて泣き叫び始めた。電燈が明るくなり船内を見渡すと、何とハッチへの階段・ハシゴ

# 感謝と相互理解

## はげましの輪充実



# はげまし

## 第十三回

### 通常総会並びに懇親会

去る六月十四日、東京・富士

屋ホテルに於いて、第十三回通常総会並びに懇親会が開催された。昭和四十九年に任意団体で結成された同会は五十一年に社

団法人に衣替え、今や会員数一万二千を越えるまでに成長した。事有れば、日本の治安と秩序を守る為に、身を挺して使命を全うする機動隊員に対する感謝の気持ちは、励ます会の志を共にする会員はもとより、今後も多くの人々に拡がつてゆくことであろう。

#### 三議案を可決

総会は、定款に定めた出席人員に達したこと、鈴木實・理事長が総会の成立を報告、鈴木理事長を議長として、三議案を可決した。

## 発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会  
東京都大田区仲六郷4-32-心  
〒144 五十鈴ビル2階  
発行人 鈴木 實  
TEL 03(739)0590  
購読料 1年間1,200円(送料共)  
(但し会費の中には購読料を含む)

第一号議案・昭和六十三年度事業報告並びに収支決算承認の件  
第二号議案・平成元年度の事業計画案並びに収支予算案承認の件  
第三号議案・任期満了に伴う理事並びに監事選任の件  
第一号および第二号議案はいずれも万場一致で承認され、第三号議案については、在任中に亡くなられた故藤田文雄氏並びに中村貞夫、廣慶太郎の両氏が理事を退任、新たに米倉国輔、橋本誠、柴田秀次郎の三氏を理事に選出、次に監事は玉越政男氏が退任、新たに芝本龍平氏を選出、その他の理事および監事は全員留任となつた。

文雄氏並びに中村貞夫、廣慶太郎の両氏が理事を退任、新たに米倉国輔、橋本誠、柴田秀次郎の三氏を理事に選出、次に監事は玉越政男氏が退任、新たに芝本龍平氏を選出、その他の理事および監事は全員留任となつた。

#### 信頼関係一段と強固に

総会終了後、来賓と機動隊員代表等約二百名を招き、励ます会々員との懇親会に移つた。開会挨拶に引き続いて、鈴木理事長から当励ます会の発展に貢献のあった小原信一、樋岡浩、橋本和生の三氏に表彰状と記念品がそれぞれ贈呈された。次に来賓として、警視庁大堀太千男総監が、先般の大喪の礼に伴う警衛警護警備に対する当会の支援活動に感謝の意を表され、「今後共、國民と機動隊のかけ橋として、又心の支えとして厳しいご叱正、暖かいご支援を賜りたい。我々も皆様の期待に応

してくれた。船内は一瞬静まり、そしていつぱいの表情であった。安心のタメイキとワードという歓声があがり、その場にへたりこむ人達が大部分であつた。その時、中年の女性が金切り声で「うちの父ちゃんどこへ行つたの！」とぐつたりとした赤ん坊を抱えて泣き叫び始めた。電燈が明るくなり船内を見渡すと、何とハッチへの階段・ハシゴ

が、多摩動物園で猿山のボス猿がある日突然死亡したそうである。解剖して調べてみると空氣銃の鉛玉が三十発余りも打ち込まれており、化膿して命取りになつたということであつた。このボス猿は近所の悪童共が、猿山を狙つた空氣銃の乱射の標的となつて、一身に受け立ち仲間を守り、ボスとしての役目を全うしたのだろと推測された。

男女同権とか男女差別とかとは別の次元で、どんなに時代が変わろうとも男と女ののなさねばならぬ役目とか責任が必ずあると思う。いつものなさねばならぬ役目とか責任の底にそれを持つた男達こそが、本当に差別のない社会を築きあげられるのではないか。」  
(三澤 昭郎)



# 中国支部総会 かけ橋更に太く

機動隊員等を励ます会中国支部総会  
が、六月十六日、広島県社会福祉会館にて開かれた。

当日は、機動隊員等百五十名、会員百七十名余りが出席し、盛大に行われた。

柳本武一・中国支部世話人が「中国のではなく、国民の協力がなくては任務遂行はありえない」と痛感している。特に警備の中核となつて機動隊員を励ますういう国民の有志の方々のお集まりである励ます会には、深く感謝している」と、それぞれ祝辞を述べられた。

励ます会麻生博常任理事が乾杯の音頭をとり、隊員と会員の歓談となり、会場は熱気に溢れ、最高に盛り上がり、最後に、木村政次大阪支部長发声による万歳三唱で閉会となつた。

日本の平和と秩序を願う国民の気持ちと励ます会の活動は機動隊員の心の支えとなつてゐる。

今後も、当励ます会は、國民と隊員達の相互理解のかけ橋になつて、その輪を広げていくであろう。





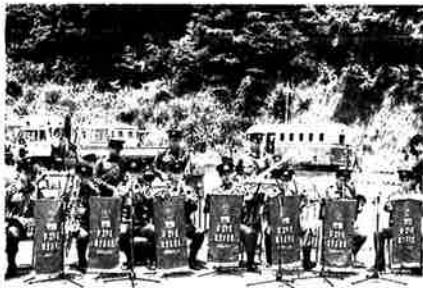


去る六月二十九日、警視庁機動隊対抗断郊競走大会及び音楽クラブ競演が、東京・福生の警視庁職員レクリエーションセンターに於いて実施された。今回の大会は実に四年ぶりの開催であり、各隊の対抗戦で行われるということもあつてか、日頃の訓練、練習の成果を十二分に發揮せんとの意気溢れる競走・競演となつた。

## 日頃の鍛錬の成果発揮

### 「断郊競走大会」

大会は午前十時、開会式により幕を開けた。そして開会式の後、直ちに断郊競走が開始された。競走方法は、各隊4名1組の7チームによるリレー方式で、グランド内2周半及び山道コースの約2キロメートルの距離を走破し、順位を競うものである。毎日厳しい訓練を重ねている隊員らは、険しい山道をものともせず、しのぎを削る接戦となつたが、優勝・七機、準優勝・五機という結果で、約一時間にわたる熱戦に終止符を打つた。



## 美しいサウンド響く

### 「音楽クラブ競演」

登食を兼ねた懇親会をはさみ、午後からは各隊音楽クラブの競演が開始された。各隊共、自チームの名称やマスクを染めぬいた色彩鮮やかな旗を飾り、会場は一転して華やかなムードに包まれた。演奏曲は各チーム共2曲で、1曲は規定曲として「出動の歌」、他1曲は自由曲となっており、各々得意な曲目を演奏した。

審査結果集計の間に、警視庁音楽隊の模範演奏があり、いよいよ審査結果の発表。ハモニ賞は七機、リズム賞は八機、サウンド賞は一機がそれぞれ獲得した。

その後開会式が行われ、各種表彰、閉会の辞をもつて閉会となつた。



## 美しいサウンド響く

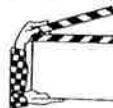
### 「音楽クラブ競演」

登食を兼ねた懇親会をはさみ、午後からは各隊音楽クラブの競演が開始された。各隊共、自チームの名称やマスクを染めぬいた色彩鮮やかな旗を飾り、会場は一転して華やかなムードに包まれた。演奏曲は各チーム共2曲で、1曲は規定曲として「出動の歌」、他1曲は自由曲となっており、各々得意な曲目を演奏した。

審査結果集計の間に、警視庁音楽隊の模範演奏があり、いよいよ審査結果の発表。ハモニ賞は七機、リズム賞は八機、サウンド賞は一機がそれぞれ獲得した。

その後開会式が行われ、各種表彰、閉会の辞をもつて閉会となつた。

## 映画を楽しむ法



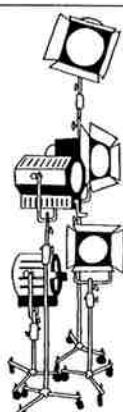
### 「犯人は悪魔」

#### （ホラー映画への誘い）

四国管区機動隊  
香川県高松北警察署  
巡査 柿本周二

先般、私は当署管内で発生した強盗事件の捜査本部へ引き上げになりました。事件は、深夜コンビニエンスストアに二人組の強盗が押し入り、レジに置いてあつた現金三〇万円を奪つて逃げたというものです。その時に店にいた従業員によると、犯人のうちのひとりは黒い帽子をかぶついて、色が黒く、目が吊り上がりつて、映画の「エルム街の悪夢」に出てくる悪魔に似ていたといふのです。

「エルム街の悪夢」は、夢の中に住んでいるフレディ・クルーガーといふ悪魔が寝ている人間の夢の中に現れて、夢の中で残酷な方法で人殺しをし、それが現実のこととなるといった内容のホラー映画です。



そうです。犯人は悪魔なのです。私は悪魔を追うことになつたのです。悪魔がそうそう簡単に捕まるわけありません。手掛けよりも少なく捜査は一時難航するかに思われました。しかし私達は悪魔を追うことになつたのです。私が現実に「エルム街の悪夢」のイメージを重ね合わせて、ちょっとしたスリルを味わえたような気がしました。いよいよ暑さの厳しい中、彼女と二人でホラー映画を見て、ふたりだけの一夜を過ごすのもよいかもしれませんね。

## 婦警特機をよろしく！

～婦人警察官特別機動隊～

府中警察署  
交通執行第二係  
巡回 赤尾和美  
(22歳)  
テニス

（22歳）

☆自己紹介

☆出身地 山梨県甲府市

☆警視庁第七機動隊入隊日  
昭和61年10月17日  
(婦人警察官特別機動隊  
第12期編成要員)

☆特技 特になし

☆趣味 テニス

☆習い事 着付け

☆好きな言葉 「やさしさと思いやり」

☆婦人警察官を選んだ理由  
たくましい警察官にあこがれて、この道を選びました。

☆今までの機動隊における印象に残つ



暑中お見舞い  
申し上げます

警視庁第七機動隊所属  
府中警察署  
交通執行第二係  
巡回 赤尾和美  
(22歳)  
テニス

婦警特機として初めて経験した、沖縄国体関連警備が一番強く心に残っています。厳しい中にも床にござをおろなことを体験し、自分のプラスに数々、みんなで隊食を食べたり横たわりたいと思います。

これからもよろしくお願ひします。  
わって休んだりしたことは、一生忘れられません。



大内俊司  
学嘉悦学園  
高周波熱鍊株  
株周東商会  
大洋製鋼株  
村山文雄

木村利秋  
(株)日鐵流通センター

大東港運株

橋山和正  
田島鋼材株

岡谷鋼機株

廣慶太郎  
國見山株

木村利秋  
宮崎製鋼株

田島鋼材株

東海鋼材工業株

岡谷鋼機株

宮崎製鋼株

内外運輸株

高島シヤーリング工業株

早達運送株

東北支部

(社)機動隊員等を励ます会

鎖國論



家藏の古文書を整理して居たら明治  
初年に没した當祖父の遺品の中から写  
本の「鎖國論」なるものが出て来た。  
此は極西檢夫爾著、志筑忠雄訳と題し  
て將軍綱吉の時代、元禄二年（西暦一  
六九〇年）から同四年迄長崎出島の蘭  
館に勤務したドイツ出身の医官、エン  
ゲルベルト・ケンペルの著述で、その  
没後、一七二七年英國で出版された蘭  
語版の「日本誌」附録第一章を、長崎  
通詞中の逸材志筑忠雄が全訳したもの  
である。ケンペルの大著「日本誌」は  
各国語に翻訳されて十八世紀の歐米で  
広く讀まれ、モンテスキュー（佛）、カ  
ントとフィヒテ（独）、ラフルズ  
(英)、クルーゼンシュテルン（露）、  
更にはペリー（米）等に我國に就いて  
の認識を與えた。此に影響されて後年  
長崎の蘭館に勤務したのはトゥンベリ  
(瑞) 及シーボルト（独）である。志  
筑忠雄（中野柳圃）は通訳官の志築家  
の養子となつたが語學の天才で永年刻  
苦して蘭語の文法書を著し吉雄、馬場  
大槻氏等の通詞や蘭學者を教えると共に  
に西欧の天文學、曆學を研究し紹介し  
た人である。鎖國なる言葉は志筑に依  
つて初めて用いられたがこの訳書は幕  
末の知識人には必讀の本として広く転  
写を重ねられた様である。即ち太田南  
畠が賞賛の跋文を書いて居る他、三浦  
梅園、本多利明、高橋景保、平田篤胤  
等の文献にも引用されて居る。ペリー  
艦隊来航に先立つこと三年の嘉永三年

し有無相通ずる事を禁止するのは造物主の天理に反する。然し乍ら日本は他の大陸より隔離する島國で自然の恩恵は豊かであり國民は勤勉で工藝も優秀であるから自給自足が出来る。法律は厳しく内乱の恐れもないで外國から國を鎖す法を施行したのである。その不安の要因を断つ事は至当である。從つて政治の安定、國民の幸福の為皇帝（將軍）は内外の交通を遮断し永久に國を鎖す法を施行したのである。その裏付として日本の地理、歴史、風俗、產物、國民性に就いて相当な理解を以て叙述して居る。

終章では賢君將軍綱吉の下、万民一致して神を敬ひ法を守り礼を尊びその習俗は世界に冠たるものがある。物資は豊富で國民は心身共に健全で平和で幸福な生活を送つて居る。此の國の歴史の中で世界から完全に閉鎖されて居る現在程、國民が幸福な時代はなかつたであらうと手放しで礼讃して居る。カントは一七九五年永久平和の條件と云ふ論文にケンペルの立論を引用して居る。周知の事かも知れないが、我國が西欧と交渉を持ち遂に國を鎖すに至つた顛末を極簡単に振り返つて見よう。天文十二年（一五四四年）ポルトガル船が種ヶ島に漂着し、次いで同十八年耶穌会のザビエルが鹿児島に上陸した之が我國の貿易と宗教の両面で西欧文化と接觸した始まりである。

ポルトガル・スペイン両國は十五世紀末からの大航海時代に貿易と布教の

に此の本は出版されたが巻頭に鎖国は一般論として天理に反すると記された点が御政道に批判を許さない体制の忌避に觸れて即時に発賣を禁止されて居る。主として國學を學んだ當祖父が之を讀んでどんな感想を得たか百年を経た現在知る術もないのは甚だ残念である。然らばケンペルは如何なる立論を用ひたであらうか。初めに「日本人が全國へ貢するに至る、

國の争は頂点に達し一五八八年、スペイン艦隊が英國艦隊に全敗すると世界は各地に於て旧教二國は敗退を續けるに至る。徳川改権の樹立後、東洋に於ては布教に關せず貿易のみを希求する蘭英二國は頻りに旧教國を中傷し排除せんとした。我國の旧教徒は終に七万を超え、その信徒は残忍な迫害に慟烈な殉教を以て應え、寶永十四年（一六三六年）島原の乱に到る。

家光の治政下、幕府及豪商等は生糸その他朱印船等の貿易に莫大な利益を収めて居たが終に鎖國に踏切り、寶永十年（一六三三年）から六年に亘り一連の法令に依り、日本船、日本人の海外往来の禁止、外人等の追放、禁教の徹底、五市の長崎限定等を実施し、蘭支二國間とのみ管理貿易を行ふ事となつた。

為政者の偏見、偶發的事件の積重ねがあつたとは云え、鎖國は國內的には中央集権の封建体制強化と、國際的には當時ヨーロッパ諸國の貿易、宗教事情の角逐から招來された歴史的必然と言えよう。ケンペルはさて措き我國に於ても明治時代の初期から鎖國の利害得失が論じられる様になつた。

鎖國を是なりとする史家は内田銀蔵、中村孝也、新村出氏等であり、最近の文化史家にも可成な賛成者が居るが、國の統一を保持して平和を達成し國有の文化と知的蓄積を高め國內産業を發

ため東洋に進出し印度の他東南アジアを各地に根拠地を持つに至る。次いでランダ、イギリスが追撃し両國との間で熾烈な争覇戦を開く。此の時代我國に於ては戦國時代に漸く終止符を打ち信長が國內統一の礎を築き、秀吉を之を受けて霸権を握り、家康に至つて幕藩封建制度を完成する時代に当る。新來の文明に深い理解を示し中途に例

# 名古屋とデザイン博

昭和二十年の敗戦は第二の開國である。瓦礫の中から、繁栄の頂上近く登り始め、先進國と途上國双方から、経済文化の摩擦を指摘され國際的対應を取つたのである。鎖國の功罪を研究する事は有意義であると思はれる。

達させ維新後發展の基礎を作つたし  
る。鎖國を非なりとするもの 福地一郎、  
徳富蘆峰、辻善之助、利田折  
司馬遼太郎氏等及び大半の近世史家  
通説となつて居るが、海外知識情報  
遅れ、科學の退歩、產業貿易の沈没  
國民精神の消極退變など凡て閉鎖的  
封建体制下の抑圧と頽廢、停滞を指  
して居る。鎖國は非の論は凡て仮説  
而して居る。(つづき)

される第二東名・名神高速道路等です。又産業技術中枢圏域形成の為、政府系研究機関等の紹致を目指す研究学園都市群の建設が愛知・岐阜・三重県等の各地で既に具体化もしております。そして今年になり、二十一世紀初頭に国際博覧会条約に基づく、いわゆる「万博」の誘致を地域としては決定し積極的な対応が開始されているのが現状です。

名古屋は、誰もが住みやすい町（政令都市の中で持ち家率又一人当たり居住面積は全国第一）と言いますが、住みたいた町としては残念乍ら上位にランクされれません。デザイン博の副題は「ひと・夢・デザイン」であり、從来あつた名古屋のイメージを打破し、感性豊かなそして住みみたい町への変身を目指した一つの試みでもあります。

「一杯のかけそば」にある北海亭がまだまだ市内にも残っていますし、又残したいものですが、やはり親子三人に住んでもらえる町作りが調和のとれた地域発展に今最も大切と思えます。

この様な二十一世紀に向けての町作りが、デザイン博を契機としてスタートしておりますので、正しくご理解ください。お待ちしております。

の大型プロジェクトが幾つか提案されておりますので、紹介させていただきます。

## 今月の言葉

最近、ジームズ・フアローズ氏（アトラントティック・マンスリー誌ワシントン編集長）の「日本封じ込め」（中央公論七月号掲載）が評判になつてゐる。日本が一方的に経済を拡張し、米国との間に貿易摩擦を作りだしていくことは、友好的なパートナーシップを維持していくしかねばならない日米関係を阻害するだけではなく、世界の均衡にとっても由々しい問題である。どうやら、この傾向は日本の政治・文化に由来するものであつて、日本の政治・経済の中に、行きすぎた拡張を抑制するシステムを求めるのは不可能である。そのためには、アメリカが政治的な力を行使して日本本を封じ込めていくことが必要である。」というが論文の主旨である。日本のことをかなり勉強した跡がみられるし、理解しようとしている努力は評価するにしても、日本人としているには、どうにも納得できない論旨である。大体「封じ込め政策」という言葉自体、アイゼンハーウィー時代に、共産主義の浸透に対してもアメリカが採った政策を思い出させる。共産

主義が歴史的には大きな失敗であったことが証明され、その脅威が少なくなった現在、日本の経済の拡張がアメリカにとって最大の問題であるとの意図であろうか。

論文に対する批判は、いろいろな人々から出されているので、詳細な言及は避けるけれども、一点だけ、どうしても看過できないことがある。「日本人の行動原理には普遍的な理念がある」と述べているのである。この「普遍的な理念」を超えて、普遍的な理念が行動の規範として存在するが、日本人にはそれが薄弱である。日本人は「世にあるものは正しいと考え、現実に適応してゆく。これが、歐米との摩擦の原因である。」と述べているのである。「普遍的な理念が支配している国の方々が麻薬患者者が多く、犯罪率も高いのにどういうことですか。」と尋ねたくなるけれども、問題は歐米人の中

# 平和と自由

に日本をそういう風に見る人が意外に多いと  
いうことである。

しかし、日本にも立派な理念があることを  
堂々と主張したいのである。その理念とは、  
平和主義と自由主義である。確かに、武力放  
棄の端緒は敗戦によって押付けられたもので  
あったかもしれない。しかし、戦後四十数年  
平和主義は日本人の理念として定着している  
自  
由

それは、戦争による多くの犠牲と、原爆の経  
験によって得られた貴重な理念なのである。  
武力放棄を国是として明示した国が世界中の  
どこにあるか、世界の人々も高く評価してし  
かるべき日本の理念なのである。そして、こ  
の平和主義が無用な軍備に資源を浪費せずに、  
豊かな日本を築く上に大きな役割を果たして  
きたのである。

そして、もう一つは自由主義である。戦後

の悲惨な貧困の中で、日本は共産主義の陣営に組み入れられる危険を経験してきている。勿論、主張主義体制を守り通してこられた背景には常に米国の力強さがあり、大正デモクラシーとは忘れてはならないが、大正デモクラシーといわれた時代を経験してきた日本人の心の中に、自由を求める声が綿々と続いていたことも過してはなるまい。共産主義と自由主義という図式は、歴史的には共産主義の終焉という形で終わつた、あるが、その自由主義の一角を日本が守りつづけてきたという事実を誇りに思つてよいのではないかろうか。いくつかの最近の事例で、他の国の人々の不幸を見ながら、日本人としての誇りと、平和と自由の恩恵を身に沁みて思うのである。

国際化された世界の中での日本の批判には、常に耳を傾け、正すべきところは素直に正しながら、平和と自由という崇高な理想を今後とも守りつづけてゆくことを決意を新たにするこの頃である。

(佐々木 喜朗)



テルにて、第九回千葉クレントが開催され、また心の輪がひとつ咲いた。

当日は、隊員等関係者百五十名を招き、会員百五十名の三百名が集い、盛大に行われた。

厳肅な国歌斉唱の後、小川郁雄千葉支部長が歓迎の挨拶、鈴木實理事長が励ます会を代表して、励ましの言葉を述べた。

来賓として、沼田武千葉県知事、井上幸彦千葉県警察本部長並びに松井旭千葉市長の代理として大平助役がそれぞれ祝辞を述べた。

また励ます会から記念品を贈呈、鳥海政春空警隊長が謝辞を述べた。

菅浦一支部世話人の乾杯の音頭で懇親会に移り、和やかな心の交流が繰り広げられた。曾根貞雄副支部長の万歳三唱の後、閉会の辞と会は滞りなく終わった。

当励ます会は、機動隊員等と国民のかけ橋として、着実にその成果をあげてきている。

# ば げ ま し

發行所

社団法人 機動隊<sup>ギョウテイ</sup>等を励ます会  
東京都大田区仲六郷4-32-5  
平144 五十鈴ビル2階  
発行人 鈴木 實  
TEL 03(339)0590  
購読料 年間1,200円(送料共)  
(但し会費の中には録画料を含む)

つたが、今年も励ます会の支援の心は  
隊員の胸に深く刻みこまれた。

柔道外交実現

支援の輪が海外

「励ます会」の理事である松本三良氏の骨折りで実現となつた柔道外交が話題になつてゐる。松本氏は、常々当会及び名古屋支部の運営にご尽力いただいてゐるが、今回は、他国の警察軍の支援活動を積極的に行つたことで各新聞にも報じられ、その労に声援が送られている。

スタートした。選手らは、愛知県警機



#### ▲愛知県警機動隊員との猛特訓



#### ▲隊員に輪取と道場にて

## 平成の警備はソフト

警衛警備にひと工夫

去る五月二十日、徳島で行われた等  
四十回全国植樹祭に出席した天  
皇、皇后両陛下の警衛警備において從  
来と少々異なる警衛だったことが話題  
になっている。

陛下の「あまり格式ばらずに、気々しく」というご意向に応えての試みで、警察庁など警備当局が「ソフト警備」の方針を打ち出した。ソフトといつても、重々しい印象や外見、国民に与えるイメージを変える演出を狙つたもので、警衛体制は当然力を期していくべき感覚を与えた、ということ、車路啓

警衛の簡素化や沿道警衛に私服警官を増員、又交通規制も必要最低限にとどめ車列通過前後の通行規制も五分前後という大幅時間短縮等配慮が随所に見られるものであった。

警衛にミスがあつてはならないのは当然のこととはいえ、今回のように状況に対応した柔軟で完璧な警衛体制をつくりあげていく前向きな姿勢には下がる思いである。

治安の万全を誇るわが国の警備水準の向上を喜ぶとともに、今後もより一段の活躍が期待されるものである。



動隊や新日本製鐵柔道部の出でいこな  
東海市体協との親善試合等特訓に励む  
柔道二段が一人、初段が二人、一級柔道士  
残る全員が取得するという素晴らしい成  
果をもたらすことを喜ぶ。

残る全員が取得するという素晴らしい成果を修めることができた。

日本とインドネシアの警察のかけあわせとなり、柔道外交を実現させた松本氏の国を問わない警察支援活動である。

回の行動に改めて敬意を表したい。



前の社会人として、成長していくための体験を活かして後輩を育成していく重要な立場にあるわけです。機動隊の良さは、厳しさの中にもお互い切磋琢磨し、幹部と隊員が一丸となって一つの目的に向かって邁進であります。

新入隊員の皆さん、隊生活は辛く苦しいことも確かに多いでしょう。しかし、流した汗は無駄にはならず必ず報われます。「自分は選ばれて機動隊員になつたのだ」という誇りと強い決意を持って、常に初心に立ち返り全力投球で努力されることを念願するものです。

も出動することが予想される。その際、これまでの出動で身に付けた経験を十分に生かして、完璧に任務を遂行する覚悟である。

## 四国管区機動隊(愛媛県) 橋本忠興

平成元年五月二〇日、二一日の両日、

天皇皇后両陛下が御臨席のもと、「第四回全国植樹祭」が徳島県で開催され、この警衛警備に従事した。

私は本年四月に管区機動隊入隊以来、各訓練を通じ、機会あるごとに「警衛に九九点はない。一〇〇点か〇点だ。」と教えられ、「御身辺の安全を確保する」という任務を全うするため、厳しい訓練を繰り返した。特に四国管区警察学校での第一期合同警備訓練では、訓練の厳しさから同僚の隊員が倒れる姿を見て、これほどまでの訓練が必要なのかと疑問を持った時期もあった。

そのような中で、私は天皇皇后両陛下の行幸啓先である徳島県自治研修センターの警備にあつた。一昼夜に亘る検索、立番、検問勤務の中で、睡魔と足にでき立派のため座り込みみたい衝動にかられたが、「警衛に九九点はない。」との言葉を思い出し、自分で叱咤激励して任務を完遂した。

解散式で、徳島県本部長の「無事任務を全うできた。」との謝辞を聞いて、うれしさのあまり疲れは一遍に吹き飛ぶと共に、警備をやり遂げた充実感・満足感が胸に込み上げてきた。与えられた警備を受け持つ林業総合技術センター付近の実踏・検索が始まつた。時間ごとに区切られた慌ただしい勤務・雨中の検索・徹宵警戒等は辛いものがあつたが、不安を胸に徳島県入りしたのである。

徳島県入りした翌日から、高知小隊が

二一日までの五日間、徳島市で行われた全国植樹祭の警衛警備に従事し、その任務を全うした。新隊員である私にとっては、今回が初めての出動であり、期待と不安を胸に徳島県入りしたのである。

私達管機高知小隊は、五月十七日から二一日までの五日間、徳島市で行われた全国植樹祭の警衛警備に従事し、その任務を全うした。新隊員である私にとっては、今回が初めての出動であり、期待と不安を胸に徳島県入りしたのである。

新天皇初の行幸ということで、全国的にも注目された今回の植樹祭に参加出来たことにより、これから先の管機隊員としての人生に、大きな自信と誇りを持つとともに、警衛の重要さや難しさを身をもつて感じることができたと思う。

今後は、成田警備のほか、第四回長崎植樹祭、大賞祭警備等に管機高知小隊

☆好きな作家 落合信彦  
『石油戦争』等  
小学生の頃、初めて上京した際、皇居前で立番している婦警さんに一日惚れ以来、幼い頃からの夢でした。  
☆今までの機動隊における印象に残つた警備出動  
「昭和天皇大喪の礼」に伴う警衛警備。



## 婦警特機をよろしく! ～婦人警察官特別機動隊～

警視庁第八機動隊所属

赤羽警察署  
交通執行係

巡查 大田佐富美

(23歳)

☆出身地 鹿児島県

☆警視庁第八機動隊入隊日 昭和63年11月1日

(婦人警察官特別機動隊)

第12期編成要員

☆趣味 映画鑑賞、登山

☆特技 水泳

☆習い事 書道・料理

☆好きな言葉 「真心」

婦人警察官特別機動隊員としては引きっています。自分に与えられた仕事をもちろん、さらにはまわりの人達の疲れをいやすにはどうすればいいかを考えながら仕事をする事が樂しくて仕方ありません。これから出動も自分が成長する一つの糧として全力投球したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

せらず、逆戻の汚名を着せられて葬られることになってしまいます。

事件の中心となつたのは二〇代から三〇代の陸軍将校達で、私とほぼ同世代である。彼らの行動の正否は別として、私が感銘を受けたのは、彼らの「國を想う心」である。将校達の多くは妻があり、子があり、家族をこよなく愛していたが、あえてこれらと訣別し、命を捨ててまでも彼らは自分達の手で日本という国を救おうとした。

今は平和で豊かな国となつた日本だが、平和であるが故に今の私達はこの平和を守つて行くことの大切さや國を愛する気持ちを持つ忘れがちではないだろうか。

## 「226」を見て

千葉県警察第二機動隊

平田恵二

私が最近見て感銘を受けた映画は「226」である。「昭和が最も熱く震えた日」という副題のこの映画は、題名でわかるとおり、若き陸軍将校を中心とする一五〇〇余名の兵士が起こした我が国最大のクーデター「一二・二六事件」を描いたものである。

二・二六事件については過去に何度か映画化されているが、この映画は事件の勃発から鎮定に至るまでの4日間を、将校達の心理描写を中心として描かれている。当時は今からは想像もつかぬほど貧しい国であった日本。農村は飢饉に喘ぎ、娘達は身売りに出され、都会では失業者がふれる中で、政界は財界と癒着し、権力は腐敗しきっていた。そんな日本を憂い、自らが捨て石となつて国を救おうと決起した青年将校達・・・しかし、

今は平和で豊かな国となつた日本だが、平和であるが故に今の私達はこの平和を守つて行くことの大切さや國を愛する気持ちを持つつい忘れがちではないだろうか。

「平成」という新しい時代を迎え、新たな一步を歴史に刻んでいるが、そういう中でこそ、昭和という時代の中で起きた

残暑お見舞い申しあげます

東北支部

鈴木 實

大野興業株

光洋商事株

高周波熱鍊株

東南貿易株

スカイコート株

西戸榮一

橋本尚吾

明鋼材株

加納保成

皆川博司

堀口海運株

金森藤平商事株

豊鋼材工業株

北海鋼機株

(社)機動隊員等を励ます会

## 古事記を読む 麻生 博



書棚の奥から古事記を出して読んだ。戦前のタブーから解放された後、日本考古学の発展はすばらしい。近くは、藤本古墳・吉野ヶ里遺跡が、我々の古代へのロマンをかきたてる。

我々日本人の祖先は、土器を伴なわない旧石器時代、今から一万数千年前に、本州から九州まで広い範囲に住んでいたといふ。この旧石器時代人は洞窟に住み、貝塚をつくり、数戸単位の堅穴住居に住み、繩文土器を使用した。集落は漸次大きくなり、初めて高地にあつたものが、開拓した。縄文時代の幕開けである。それは七千年前のこと、人々は低地にも移り、北九州では、縄文末期三世紀には、稲の栽培と一種の織物の製作がはじまつた。イネの南方よりの伝播は南朝鮮と同時期であるといわれている。

紀元前後三〇〇年、この約六〇〇年間を弥生時代といふ。縄文末期・北九州から稻作が漸次広まり、この時期関東東北まで及び、生産用具の開発で、農具も使用され、織物の製作が當始めた。初期は弥生式土器の外、石器も使用されていたが、後期には石器が消え、鉄器が普及してくる。九州から中国地区では銅劍・銅鏡、東部では銅鐸が出土している。

これら遺跡からは、地域の広がりは判るが、時間的なことは判らない。ゲルマニ人の実体が、カエサルの「ガリヤ戦記」タキストの「ゲルマニヤ」で判つたよう

に、中国の文献から知ることが出来る。

国王が朝貢し、金印を授けたとある。又有名な魏氏倭人伝に、一七〇年一八〇年にかけて、大乱があり、邪馬台国女王卑弥呼が百余国を統一し、二三〇年に魏に朝貢している。

邪馬台国が九州か、畿内かの論争よりも、そこに描かれた当時の日本(九州)の政治、文化、生活状況に私は興味を引かれる。当時、北九州には数多くの豪族国家が存在し、南朝鮮(のちの任那)をふくめて統一文化圏を作っていた。奴国二万戸、伊都国、末盧国々四千戸といふから、大規模の氏族制部落国家が成立していたようだ。そして夫々が中国大陸に使節を送ることができる文化水準と実力を持つていた。この様相は北九州に留まらず、中国畿内、関東、東北にも及んで行った。でなければ次の時代、四世纪以降の同時多発的に全国に作られた古墳・古墳時代を語ることは出来ない。五世纪になるが宋書に倭の五王として、応神・仁徳・履中・反正・允恭の諸天皇の記録がある。ピラミッド、始皇帝陵より遙かに大きい、世界最大の大墳墓を作った応神・仁徳朝の文化水準の高さ、その勢力の強さは想像を絶するものがある。

以上が私の古代史観で、このイメージを持ちながら古事記を読むとおもしろい。

古事記は、天武天皇が当時諸家に伝わる帝紀・旧事の散逸するのをおそれて、碑文も残す。當時仕事は完成せず、持統天皇がその遺志をつぎ、元明天皇の和銅五年(七一二年)太安万侶が阿礼の習つたものを選出したのである。当時既に成立してい

た一世紀初頭の前漢書に、倭は百余国に分れていたとあり、後漢書に五七年倭の奴に一〇七年倭国王が生口一六〇人献ずるとある。又有名な魏氏倭人伝に、一七〇年一八〇年にかけて、大乱があり、邪馬台国女王卑弥呼が百余国を統一し、二三〇年に魏に朝貢している。

古事記は、他国の神話と同様天地創成を経て伊耶那岐命、伊耶那美命の陰陽二神に至り、大八州(日本國土)の国生み、次いで男神のみそぎから天照大神、女神のみそぎから火之御祖命、須佐之男命、天(高天原)、夜(高天原)、地を治める神々が誕生する。そして「天の岩戸」の物語。次いで出雲神話に移る。追放された須佐之男命の「根の国行き」。月讀命、須佐之男命、天(高天原)、夜(高天原)、地を治める神々が誕生する。そして「天の岩戸」の物語。次いで出雲神話に移る。

次が筑紫神話で、日向の高千穂の峰の「天孫降臨」、「木花佐久夜姫」「海彦山彦」「神武天皇の東征」と古代のあけぼの語り、崇神天皇以降有史時代へとつながる。根の国は古墳を想起させる。神が山頂に降りる神話が北方系である以外、まらず、中国畿内、関東、東北にも及んで行った。でなければ次の時代、四世纪以降の同時多発的に全国に作られた古墳・古墳時代を語ることは出来ない。五世纪になるが宋書に倭の五王として、応神・仁徳・履中・反正・允恭の諸天皇の記録がある。ピラミッド、始皇帝陵より遙かに大きい、世界最大の大墳墓を作った応神・仁徳朝の文化水準の高さ、その勢力の強さは想像を絶するものがある。

以上が私の古代史観で、このイメージを持ちながら古事記を読むとおもしろい。

古事記は、天武天皇が当時諸家に伝わる帝紀・旧事の散逸するのをおそれて、碑文も残す。當時仕事は完成せず、持統天皇がその遺志をつぎ、元明天皇の和銅五年(七一二年)太安万侶が阿礼の習つたものを選出したのである。当時既に成立してい

た一世紀初頭の前漢書に、倭は百余国に分れていたとあり、後漢書に五七年倭の奴

である。

古事記は、他国の神話と同様天地創成

に始まり、天地創成五神、次いで神代七

代

である。

古事記は、

代

である。

古事記は、

# 今月の言葉

日本経済はひき続き好調である。昭和三十年代に三年近く続いた戦後三番目の神武景気を追い越して今や岩戸、いざなぎ景気にせまる程の景気拡大が続いている。つい三年前、円高不況に呻吟していたことが嘘のようなどしさえ思える。日本人は持前の適応力の強さで見事円高不況という困難を乗り切り、以前とは異なる国内需要主導型の経済をつくつたわけである。しかも日本経済の構造が変化して来るので物価の安定さえ保つことが出来るならこの景気を今後も持続させることは十分可能だといわれている。企業を経営する私どもにとつては誠に心強いことである。

電製品、乗用車など、確かに多様化、高級化の傾向がある。しかし、多様化、高度化はいいが物の面では豊かでも、心の面が貧弱で見事円高不況という困難を乗り切り、以前とは異なる国内需要主導型の経済をつくつたわけである。しかも日本経済の構造が変化して来るので物価の安定さえ保つことが出来るならこの景気を今後も持続させることは十分可能だといわれている。企業を経営する私どもにとつては誠に心強いことである。

## 心の豊かさを

# 訓練の積み重ね 精銳部隊づくりに励む



機動隊には治安維持という重責が課せられている。各種警備

の中核となる機動隊員の自覚と誇り、そして任務完遂のための日々の訓練が治安の礎となつてゐる。我が国のように、治安が良く、平穏が当たり前になつてゐるといつてその有難さも忘れがちになつてしまふ。

猛暑の中も、機動隊員らは日夜訓練に励んでゐる。治安維持と同様に災害救助訓練と鍛錬に怠りはない。真夏日を多く記録した今年の夏は、全国の海、山、観光地を多くの人々が訪れた。全国の機動隊員達は、いかなる時も出動できるよう備えている。平常は空気のよう、事あれば任務に全力で当たるこうした隊員らの努力の積み重ねが我々の生活を支えているのである。今回は、訓練の一部である夏山遭難救助

夏山遭難救助訓練に参加して  
富山県警察第二機動隊 福山繁晴

私は、県警第一機動隊員であると同時に県警山岳警備隊員として三年目を迎えた今年七月三日から七日間行われた夏山遭難救助訓練に参加した。

本県は、立山、剣岳を中心とする北アルプスを管轄し、毎年夏山遭難が発生することが、隊員の救助技術、体力、気力の向上とチームワークの養成を目的に、立山、剣岳、白馬岳、鹿島槍ヶ岳を縦走する約一〇〇キロメートルの行程で、訓練が行われた。

訓練初日は、生憎の雨であったが、降雨時

でも行動する本県独特の全天候型訓練により

立山室堂を出発。今年は残雪が多く、登山道

はほとんど雪に覆われている。歩くペースも

遅くなつてはいないかと思うのである。

今年の経済白書は、日本経済の今日の良

好な成果は国民の努力と創意工夫が強

い経済力となって実を結んだものであ

り、その成果を豊かさの実現と世界経

済の発展に生かすことによつて、「真に

さへ思える。日本人は持前の適応力の

強さで見事円高不況という困難を乗り

切り、以前とは異なる国内需要主導

型の経済をつくつたわけである。しか

も日本経済の構造が変化して来るので

物価の安定さえ保つことが出来る

ならこの景気を今後も持続させること

は十分可能だといわれている。企業を

経営する私どもにとつては誠に心強いことである。



## 発行所

社団法人 機動隊員等を助ける会  
東京都大田区仲六郷4-32-5  
〒144 五十鈴ビル2階  
発行人 鈴木 貞  
TEL 03(739)0590  
賃読料 年間1,200円(送料共)  
(但し会員の中には購読料を含む)



## 機動隊が出動

災害は忘れた頃にやつてくる。地震・台風・集中豪雨・崖崩れ等天災による被害はどうしても避けられない。特に環太平洋地震帯に位置する我が国は、地震、台風、大雨による自然災害が起りやすく、毎年失われる命も少なくない。

自然を封じ込めることは無理ともいえ、毎年様々な対策が講じられている。今年も人命救助、市民の安全を守るために多くの機

動隊員が活動している。

◆福井県下がけ崩れによるマイクロバス生き埋め

七月十六日(日)福井県下において慰安旅行の一一行十五名が崖崩れに襲われマイクロバスごと生き埋めになった。福井県警察本部は機動隊員を含む二百名を現場に出動させ、十四時間にわたる徹夜の救出作業を行つたが、救助の甲斐なく全員遺体となつて発見された。



▲道路損壊の危険箇所の把握にあたる機動隊



▲土砂に埋もれたバスから被災者の救助活動にあたる

# 出動!!遭難者救助

毎年あとを絶たない山、海、川の遭難事故。時には必死の救助の甲斐もなく、悲しい結果に終ることもある。しかし、無事救助された人達やその家族の喜びの笑顔を見る時、隊員の胸にまた新たな闘志が湧いてくる。痛ましい事故が起らぬことを祈りつつ、人命の尊さを心に刻みつけ、今日も隊員らは厳しい訓練に励んでいる。

することとなつた。しかし、いざ実施の段階となると非常に困難な救助業であり、ヘルプは樹木が気になり近くに近づけず、被救助者は体重九〇キロ近くもあり、引き上げるのに大変苦労した。しかし、救助後、被救助者との母親から、それぞれ目に涙を浮かべながら感謝の言葉を言われた時、おおげさではあるが、人命を救助したのだ実感した。

遭難した人達が、山の中で孤独な時間過ごしている時、救助者の姿が現れた時のうれしさは、自分がその立場に立った場合、よくわかるような気がする。これからも救助活動に従事する際、このことを常に頭の中に置き、被救助者の安心しきつた笑顔を多く見られるよう頑張つて、こうと思う。

ような形で死亡していた。  
遭難者が最後まで持っていた手帳には、日  
を追つて遭難時からの状況が書いてあり、そ  
の内容を見ると、滑落して足を骨折し、この  
場所まではいい上がって来たが、力尽き、餓死  
したものと判断された。  
黙禱後、柴ぞりで搬送を始めた。遭難者を  
収容する途中、急斜面では落石の危険や、足  
の下から始まる落石などで大変な苦労だった  
が、なんとか遺体を葛温泉まで降ろして収容  
することができた。  
それにしても、手帳に書かれていた文字が  
頭に焼き付いている。  
両親への惜別の文もあり、最後は「うどん  
が食べたい…………」まで判読できるが、それ  
が食べたい…………」まで判読できるが、それ

どであつた。「沢」と言つても私達の想像を遥かに超える場所である。両側は三〇メートル以上もある切り立つ崖で、沢には直徑七一八メートルの巨岩が、私達の行く手を阻んでいる。岩を登り、ハーケンを打ち、ザイルを張り、全員で力を合わせて担架を持ち上げて運んでも、六時間かかってやつと二百メートル引き上げられただけであった。雨のため遺体収容作業は難航したが、天候の回復を待ち第二機動隊と交替し、遺体発見から一週間後の五月十九日に遺体は遺族のもとに届けられた。今回の遺体収容作業は困難度において機動隊員の山岳救助隊員にとつても初めての事ではあるが、全員一丸となりあらゆる技術を駆使した結果、厚木署員も含め全員が無事下山できた事は第一機動隊にとつて貴重な経験となつた。私達は改めて山の怖さを実感し、二度と山で遭難する人が無いようにと祈りながらも、山岳救助技術の向上のため、厳しい訓練を続いている。

め現場指揮車による広報を開始した。川は増水して河川敷いっぽいに流れ、また運の悪いことに岸辺は「ねこやなぎ」等の低木が生い茂っており、状況から舟艇の使用は困難だと判断し、徒步により中洲に渡ることになった。濁流となつて増水した川の中を腰まで水に浸り、灌木や石に行く手を阻まれ、泥に足を取りながらも、一歩一歩足を進め、取り残された家族のところへたどり着いた。暗闇の中で救助を待つていた家族の安堵した表情が印象的であった。しかし、川はさらに増水し続けている。一刻の猶予もならないので、まず子供達から背負つて救出することとした。背中の子供を励まし、勇気づけながら、また隊員はお互いを見失わぬよう声をかけ合い、時には胸まで水に浸りながら、半分泳ぐようにして安全な岸にたどり着くと、すぐに濁流の中を引き返し、残った親達も全員無事に救助することができた。

山岳救助

高橋  
守

昨年五月、北魚沼郡湯之谷村、通称「若越沢」と呼ばれる沢で山菜採りの男性がすべり落ち、怪我をして動けないとのことで機動隊員に応援要請がかかった。私は同僚レンジャーチーム員一名とともに航空隊ヘリ「こしかぜ」に搭乗し、怪我人を救助すべく湯之谷村方向へと向かった。四十五分程度で現地に到着、地元消防団員数名に囲まれた怪我人を容易に発見することができた。しかし現場は、地元消防団員が木々を伐採していたとはいえ、樹木は生い茂り、とてもヘリは着陸できる場所ではなかった。よつてヘリをホバリング状態にして怪我人に自力で搭乗してもらう方法を考えたのが、怪我人は意識はあるものの相当の重傷らしく自力での搭乗は不可能という状況であつた。そこで同僚レンジャー隊員一名が高さ一メートル程のホバリング状態から地上に飛び降り、被救助者を下から持ち上げ、本職がヘリ内から引き上げるという方法をとり、実施

長野県警察機動隊

一色和夫

員は、針ノ木岳を目指して登山者の指導と、パトロールをしながら、いま、その頂上に到着した。

視界三六〇度、眼下に安曇平そして松本平が目にとび込んでくる。まさに大パノラマだ。

小休止。

はつとしてタバコに火をつけた時だった。

無線機から、「七倉尾根で遭難者の遺体発見」と連絡された。

神奈川県警察第一機動隊

痛いほど伝わってくるような気がした。  
しかし、遭難者が待っていた所には、運転車  
く誰も通らなかつたのである。  
私は救助隊員である。この“叫び声”に応  
えられる補導や指導にあたれるよう、今後と  
も一層頑張つていただきたい。  
さらに、信州の良き想い出づくりのバッく  
アップに全身をささげたい。

神奈川県警察第一機動隊

平成元年五月一六日午前一〇時三〇分、

昨年五月、北魚沼郡湯之谷村、通称「若越沢」と呼ばれる沢で山菜採りの男性がすべり落ち、怪我をして動けないとのことで機動勤団に応援要請がかかった。私は同僚レンジャー隊員一名とともに航空隊ヘリ「こしかぜ」に搭乗し、怪我人を救助すべく湯之谷村方向に向かつた。四十五分程度現地に着到着、地元消防団員数名に囲まれた怪我人を容易に発見することができた。しかし現場は、地元消防団員が木々を伐採していたとはいえ、樹木は生い茂り、とてもヘリは着陸できる場所では

ついていた弟が、どんな気持ちで今我々と遭難現場に向かっているのだろうか、そして、登山口に残った両親の心の内は、どんなに辛く悲しいものであろうか、などと思うと気持ちもあせり足も早くなつた。

平成元年五月一六日午前一〇時三〇分、私は清川村煤ヶ谷の三峰山、通称権源沢の中腹で第一機動隊山岳救助隊員一〇名、厚木署員五名とともに、沢を滑落した一人の青年の遺体に向かって合掌していた。遺体発見場所は鳥待沢を遡ること約一時間半、途中道なき道を行き、滝をよじ登り、岩壁をつたい歩き、全身ずぶ濡れとなつて漸くたどりつくようない場所で、普通の登山者は近付く事のない所である。私達は担架を作り遺体を収容し、搬出作業を開始したが、足場が悪く、沢を下るとは二次遭難の恐れもあることからこれを断念、沢を登り尾根に出で登山ルートを下山する事とした。遺体を包んだ担架の重さは百キロを超えるかとも思われ、山岳救助隊員六名で抱えてもその肩にズシリと重みを感じるほ

茨城県警察機動隊

山田鉄一

大坂電機重開



茨城県警察機動隊  
山

それは昭和六二年八月一四日の夕方の事

うになつてゐる危険河川であり、一瞬にして姿を変える自然の恐ろしさを思い知らされた事案であつた。







## 今月の言葉

菊薫る季節の到来となつて、今年も結婚式だけなわの秋となつた。若い人が夢と希望に胸をふくらませて、新しい人生の門出に誰もが明るく幸福なりやう。「堪えること、粘ること」「辛抱して頑張ること」であろう。

妻をいたわりつの気持即ち「思いやり」に尽きると思う。そして思いやりの気持ちの基本は「忍と根」ではないか。「堪えること、粘ること」「辛抱して頑張ること」であろう。

## 忍

と  
根

現の字句に若干の相違があるものの、「融和・團結」「誠実・至誠」「忍耐」「剛健」「機敏・迅速」等々。要は、「明るく、強く、頼もしく」責任と自覚をもって治安の任務を遂行してゆく指標

を示しておられるものと思う。若し機動隊員の大多数の皆さんはこれから結婚される方が多いと思うが、家庭こそは人間の共同生活の最小の單位であつて、家庭の明朗、健全なくしては社会人としてそれぞれの任務の遂行と充実は期し難い。若い隊員の皆さんには隊訓で培った人生訓を公私共に実践し、「忍と根」を自然の形で發揮しつつ、激動が予想される二十一世紀に向かつて、平和と秩序ある社会に貢献されることを切望して止まないものである。

(馬場 鋼太郎)

## 防災の秋

被災ビルからの  
救出救助訓練◆高所壁面も  
果敢に

もしも突然大きな地震や火災が起こつたら、あなたはどうしますか?

今年も九月一日の防災の日に

全国都道府県警察において、総合防災訓練が実施された。

災害警備は、治安維持と同様に機動隊の重大な使命のひとつである。日頃の訓練の成果を發揮して、災害時の迅速的確な警

## 全国各地で総合防災訓練実施

備活動を確認すると同時に、あわせて各地域の住民の防災意識の高揚と防災時の行動力、判断力の向上を図ることを目的として毎年各地で行われている。

今年もこの訓練に、機動隊員を含む警察官約一四万一〇〇〇人、ヘリコプター等(飛行機一機を含む)五十五機、車両八千六百台が参加した。

## 習熟した訓練成果を發揮

訓練内容が盛り込まれている。機動隊はその名の通り、各隊共にその機動力を各所で遺憾なく發揮。地域の信頼を獲得している。

話聞いた。

内容は、(1)米国の日本恐怖症、(2)中国の政治情勢と偽装難民政策、(3)最近紹介、「日米経済摩擦は日本貿易のやり方」が一方的積極的であり、攻撃的破壊的で、欧米とは質的に異なるものである。従つて、欧米は協力して日本を力でおさえなければならない」と。氏は

九月七日、午前八時より大内名営理事長、鈴木理事長外三十一名參集、理事会を兼ねた朝食会が開催された。ゲストとして出席された小野政男氏のお話を聞いた。

二十一世紀にかけて、共産国はソ連を含めて大変革、共産国はなくなるであろう。大戦争もなく、軍縮も進む。このものこのためである。(3)については、ムス・ファロースの日本封じ込め論を応招(参考)者受付と部隊編成、各級警備本部設置と運営、通信、広報。又防災器材の点検、操作等その他多岐にわたり、実践的ながらきめ細かい訓練内容が盛り込まれている。

## 朝食会だより

## 警視庁

## 五機優勝!

## 機動隊対抗野球大会



恒例の警視庁機動隊野球大会が、今年も九月六日から三日間、大田区内のグランドで行われた。

各隊から選抜された選手達による試合は、日頃の訓練で鍛えられたパワー

が炸裂し、観戦する者も思わず手に汗握る程の熱戦が繰り広げられた。

機動隊対抗では、五機が優勝を飾った。

その後九月十二、十三、十四、十八日の四日間で行われた各地区より勝ち抜いてきた十五チームのトーナメント

を簡潔に表明されている。各機動隊員

がそれぞれの隊訓を胸に秘めて日夜そ

の使命に精進しておられる姿こそ、ま

いやり」ではなかろうか。浪花節の文

句にもある「妻は夫を慕いつゝ、夫は

偕老同穴の契りや唇歯輔車の仲等とむ

づかしい言葉で祝詞が述べられるが、

結局必要なことはご両人お互いの「思

いやり」ではなかろうか。浪花節の文

句にもある「妻は夫を慕いつゝ、夫は

偕老同穴の契りや唇歯輔車の仲等とむ

# 秋、あなたは?

厳しい夏の日射しも和らぎ、ようやく涼しい風が吹くようになりました。秋といえば、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、と人それぞれ。機動隊員の皆さん、どのような秋を過ごしているのでしょうか。読書派、スポーツ派の方々にご登場頂きました。

読  
書

青島幸男・著

## 「人間万事塞翁が丙午」を読んで

大関  
進

秋田県警察管区機動隊

最近は結婚する女性の干支などはまったく気にしないようであるが、昔は丙午の女性と言るのはどういうわけか、一緒になった亭主を喰い殺すの、火事を招くだのと言われば、忌み嫌われていたそうである。

この本は、その丙午の生まれの女性である時代背景は、戦中から戦後への激動の時代であり、主人公の夫である青山次郎に召集令状が来たところから始まっている。この作品の作者である青島幸男らしい、軽快なテンポで話は進んで行き、最後には次郎はあけなく死んでしまう。しかし、この作品の一般的な雰囲気は、決して陰つたものではなく、むしろ逆に何かカラッとしたものが心の中に残ったような気がした。

これも全てハナの持ち前のバイタリティのせいだと思う。次郎が戦争に出兵している間にもハナの身の回りには様々な事件が起きるのだが、その度にハナは何とかこれを乗り切っている。

よく「人間万事塞翁が馬」と言われるが、これは周知の通り中国の故事で、人生何が幸運になるか、不運になるかは測り知ることが出来ないものであると言う意味であり、このことがこの作品の中にも流れている。

仕事や日常生活で、何か行き詰まつたり不幸だと感じる事があつたら、ただ嘆いているばかりでなく、ハナのように前向きに、楽しく人生を生きていきたいものである。

立花 隆・著

## 「脳死」「脳死再論」を読んで

青森県警察機動隊  
近松玲司

あなたは次の問題に答えられますか。脳死とは何か。脳死がなぜ問題となり、議論されているのか。脳死と殺人の関連性。

脳死とは何か、と問えば、ほとんどの人は脳が完全に死ぬことと答える。では、脳が完全に死ぬとはどうなることか、と一歩突っ込まればもうわからない。ほとんどの医者も答えることはできないであろう。

脳死が問題となっているのは、臓器移植との関わりで脳死の判定が重要な役を果たしている。角膜や腎臓の移植と異なり、心臓、肝臓の移植の場合は、脳死者の臓器を用いる必要がある。そのため厚生省や日本医師会生命倫理懇親会は、脳死の判定基準(紙面の都合上、ここで詳しく述べることは控えるが)を設けたが、これが問題が多い基準で、これに対する反論が出ていている。一方で、その他の医者は、脳死とは死を、これまでとは違った角度からとらえ直したものであった。一説をお薦めしたい。

## 目標に向つて スボーツ

仲野英一郎

最近は結婚する女性の干支などはまったく気にしないようであるが、昔は丙午の女性と言るのはどういうわけか、一緒になった亭主を喰い殺すの、火事を招くだのと言われば、忌み嫌われていたそうである。

この本は、その丙午の生まれの女性である。青山ハナを主人公とした下町物語である。

時代背景は、戦中から戦後への激動の時代であり、主人公の夫である青山次郎に召集令状が来たところから始まっている。この作品の作者である青山幸男らしい、軽快なテンポで話は進んで行き、最後には次郎はあけなく死んでしまう。しかし、この作品の一般的な雰囲気は、決して陰つたものではなく、むしろ逆に何かカラッとしたものが心の中に残ったような気がした。

男の願いが始まる。  
私は、現在、ラグビー小隊に属し、秋の公武戦、関東社会人ラグビー連盟(加盟店、一九八チーム)一部リーグの試合に向け、日々練習に励んでいます。

ラグビーというスポーツは、そのポジションによつて役割が異なり、体の大きい者、小さい者をそれぞれ必要とし、スクランブルを組んだり、バス・キックをしながら前進し、トライに結びつけるのである。ラグビートの試合では、一見、トライをした者がヒーローであるかのように思われる。しかし、トライするまでの過程で、ボールを確保しパスをつなぎ続けたチームメイトがいることを忘れる事はできない。

このように、チームワークというものをと

ても重要なとするスポーツであり、このチームワークを確固としたものにするには、当然、

部員全員が精神を統一し、團結力を養つてい

かなければならぬ。つまり、勤務・練習に

おいて、部員相互が共有できる時間をどのように過ごすかが非常に大事なものとなつてく

る。

一日の大半を、その気になりさえすれば、

くらでも自由に使える学生ラガーランド、仕事

を持ち、その傍らで、この厳しいスポーツを

する社会人が使う二十四時間の貴重さは、比

べることができない。しかも「仕事」といっ

ても、我々警察官の仕事は、一般企業のそれ

とは決して同一線上で語ることのできないも

のである。我々は、企業チームのように、一

定の時間に計画的に練習ができないため、チ

ーム作り、コンディショニング作りに難しい面も

あるが、与えられた条件の中で、いかに有効

に時間を使い、まとまつた練習時間を作り出

すかが大きな課題となつてゐる。ラグビーと

サッカーの違いは、何物にもかえがたいものと

なっております。

第五機動隊に着隊してまだ半年を過ぎたば

かりですが、私の先輩達は輝かしい実績と歴史を作つてきました。昨年も、関東リーグへ

の昇格をめざして、関東大会に出場し、二回

戦まで進出しましたが、惜しくも今一步のと

ころで敗れてしまいました。しかし、東京都

た周囲の温かい支えが源になつて湧いている

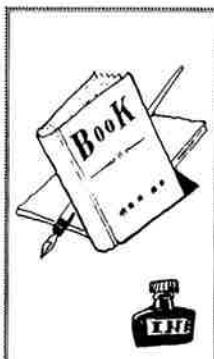
のかもしれない。

私は、その周囲の支え、そして警察官であ

ることをわざわざラグビーに打ち込み、第

一の目標である東日本社会人リーグへの外格

を目指し努力していきたい。



## サッカーに賭ける 警視庁第五機動隊

木曾茂樹



一部リーグでの上位入賞、また、チーム内は東京都一部リーグでの得点王、アシスト王ベストイレブン等の個人賞を受賞した先輩方からとても難しい事と思っていました。しかし、キヤーテンを中心と週休、非番はもちろんのこと、早朝練習等で持久走、筋力トレーニングなどを行い、先輩 同僚の励ましや応援のおかげで念願の東京都一部リーグ戦に出席することができ、また得点を挙げることができました。これからになり、大きな自信となりました。これからは先輩に追いつき、追い越せをモットーに今まで以上の練習を重ね、警視庁サッカーデ部分新し歴史と伝統を築くため努力精進する覚悟です。

私は、「青春」とは、自分の持つてゐる若き力を、目標に向け、全力でぶつけて努力することではないだろうか、と思います。

警察官としての使命を果たす為の、体力、気力、根性を養うためにも、私は、サッカーに青春を賭け、又警察官としても更に飛躍できるように、精一杯ボールを追いかけながら機動隊員として頑張っていく所存であります

しさを初めて知り、「頑張った今まで終わりだんじゃない」そんな気持ちが、湧いてきました。その気持ちが私を更に厳しい大学のクラブへと進ませる事になりました。

大学時代は、一年の時に、インターハイで不覚をとった相手に勝ち、大学入学当時の日本学生個人選手権で三回優勝した以外は、全日本クラスマジックの大きな大会では一回もタイトルを取ることはできませんでした。やはり、スポーツをやる者として頂点を目指したいと思うようになりました。頂点とは勿論、「全日本選手権大会優勝」です。この試合に出場するには、各階級ごとにある標準記録を公式試合で出し、さらに全日本の十傑に入らなければなりません。原則として一階級十名の出場となつており、十階級で百名が最大人数となります。日大時代は標準記録に達せず、日本選手権には出場できませんでした。

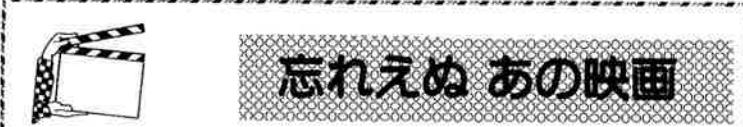
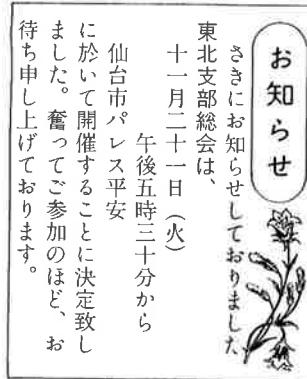
監視席に入つて、監督を始め、先輩方の御指導と努力の結果、二年目から全日本選手権に出場できるようになり、昭和六十二年、第一位、二位、平成元年、第三位と入賞することができました。しかしあくまで目標は優勝です。自分より上の人間がいるかぎり、二位、三位になつたところで人に誇ることではないと思います。あくまで頂点に立つたのみがそれを誇つていいのではないかと私は考えていました。

私の青春時代はウエイトリフティング一色で終わってしまうだろうと思います。そんな中で、自分はこれだけの事をやつたんだと胸をはつて言える証として、なんとしても全日本選手権での勝利を手にすることを目指して行きたいと思います。

頂点に達してこそ  
警視庁第八機動隊  
生方力

私は、「青春」とは、自分の持つてゐる若い力を、目標に向け、全力でぶつけて努力することではないだろうか、と思います。警察官としての使命を果たす為の、体力、気力、根性を養うためにも、私は、サッカーに青春を賭け、又警察官としても更に飛躍できるように、精一杯ボールを追いかけながら機動隊員として頑張っていく所存であります。

十年前 高校時代の毎日の練習は非常に厳しいものでした。私は高校を卒業したらウイトリーフティングを辞める決心をしていました。しかし、二年の時、幸運に恵まれインシターハイで優勝することができました。こうして自分が強くなつてくると、今度はウエイトリフティングが面白くなつてきました。しかし、三年のインシターハイで私は不覚の逆転負けをして二位となつてしましました。これは二年生で全国を制したのだという私のおごりが招いた結果でした。この時私は、負ける悔



# 婦警特機 をよろしく！

警視庁特科車両隊所屬  
中野警察署 交通執行係  
巡查 小林紫乃

☆今までの機動隊における印象に残つた警備出動「昭和天皇・大喪の礼」に伴う空港警備。

S・スピルバーグの「太陽の帝国」を観て  
私が最近見た感銘を受けた映画は、『太陽の帝国』である。物語は太平洋戦争のさなかの中国が舞台となる。主人公の少年はイギリス人。外交特権により両親と上海で幸福な日々を過ごしていたが、日本軍の上海占領により一気に戦争の渦中に巻き込まれてゆく。両親とも生き別れ、少年は捕虜収容所に送られる。そこで展開される様々な人間の狂氣が、最終的には少年の純粹な心を破壊してしまふのである……

私がこの映画の中で特に感銘を受けたのは、戦争という地獄の中での次々と人間らしさを失つてゆく人々、剥き出しの醜い感情の渦。その中にあって、も味方も無かつた。捕虜に暴挙をふる

北海道警察機動隊 望木勇一郎

この何ものにもとらわれず、真っすぐ人に愛する気持。この純粹さを現代の平和な社会に生きる私達は、忘れてしまつていいのではないだろうか。

平和は世界中の人々の共通の願いである。しかし、見せかけの平和や心の通じ合わぬ人間同志の馴れ合いは、戦争という提議に対し、何の回答をも生みはしない。混沌とした現代社会においては、人を思いやる気持ちさえも排他的になりがちである。今こそみんなが純粋で、真っすぐ人に愛せるような広い心と童心を持ち続けることができるなら、眞の平和への掛け橋にすることができる。と、この映画を見た時そんな気がしてならないかったのである。一人の少年が与えてくれたあの感動。今の時代にこそ多くの人に知つてもらいたい。そして、みんなで考えてみた

う日本兵に対し、少年はこう訴える。「ナニカノマチガイデス。ボクタチハミナトモダチデスヨネ。センソウノセイデス。」

**婦警特機**をよろしく!  
**～婦人警察官特別機動隊～**

**警視庁 特科車両隊 所属**  
**中野警察署 交通執行係**

**巡查 小林紫乃**  
 (26歳)

**☆出身地 神奈川県**  
**☆警視庁特科車両隊入隊日 昭和63年10月19日**  
**(婦人警察官特別機動隊 第12期編成要員)**

**☆趣味 料理**  
**☆特技 イラスト・パソコント・小話**

**☆習い事 剣道**  
**☆好きな言葉 「ガツツ」**

**☆好きな作家 山本 周五郎**  
**『櫻の木は残つた』**

**☆婦人警察官を選んだ理由 中学の頃、悲惨な交通事故を冷静に処理している警察官の姿に感動したからです。**

**☆抱負**  
 署では毎日、駐車違反の取締りをしています。色々な違反者がいて、取締りは大変ですが、それだけにやりがいを感じています。将来は調査もそれるようになつて、是非交通事故のような仕事をやりたいと思います。機動隊ははつらつとして、私が男性だつたら絶対に希望したいあこがれの職場です。



任務の完遂  
光れ機動隊

# 読者の広場

## 地球の復活

ではあるが、砂漠に累根紅木に向むくある。中東、アフリカ、中南米、東アジアの局地紛争も曙光が見えて来た様に思はれる。中国に於ける混亂も時間の経過で鎮靜に向ふてあらう。然し人類が理性と英知に訴えて核戦争の危険から免れ得たとしても、不知不識の間に加速して行く地球環境の破壊から逃れる方がより困難ではなからうか。六月に遅く、ブッシュ大統領が議会に米国大気淨化法案の改正を打出し、七月のアル・シュマミットで不充分年分打らミッテンが環境問題の原則論を唱える等此の問題は益々グローバルになりつつある。尙て一九七〇年前後に問題化した、急速な先進国の産業発展に依る、大気や水の公害防止運動はその対策が一応奏功したかに見えた然し其の後地表の詳細な科學的検証に依り、特に発展途上國に於て自然破壊が破局的に進行して居る事が明らかになつて來た。一九三〇年、二〇億であつた世界人口は一九八七年に五〇億に達し、途上國の人口はその七五%を占め、更に増加傾向にある。アフリカ、印度、東南アジア、中南米では過重な人口を局地的に養ふ爲に熱帶雨林を乱開発して旱魃延いては洪水を誘發するに至つた。欧洲、北米、アジアに於ても大気中の有毒ガスが広汎して、範囲に酸性雨をもたらし温帶森林も侵して

科學物質に依る淡水海水の汚濁、或は放射能の拡散等、グローバルに自然生態系の破壊がとなって居る。大気のみならず農業、重金属問題は火力発電や自動車等の莫大な化石燃料の消費が大気中の炭酸ガスの激増を促し前述の熱帯雨林の破壊と相俟つて地球を温室化して居る事である。諸データの予測する所二〇五〇年に地表の温度は約四度上昇する。南北極の氷は融け世界中に海進が起り、都市や平野が失はれ、大陸に依り米国等の穀倉地帯が打撃を受け、食糧危機や傳染病の蔓延危機を想される。原子力は化石燃料に代るエネルギー源であるが廃棄物処理に問題があり、事故防止にも完璧を期し難く、さりとて核融合の開発も可成の年月を要する。然らば来るべき危機を救ふ道は何か。人口の抑制、食糧安保守、富の再配分、資源の使用規制、技術革新等々、項目を羅列することは出来る。然し林の植林再生しかないと思はれる。

即ち植物は炭酸ガスを吸収して酸素を大気中に送り返す。専門家の計算では一ヘクタールで木材一〇屯を生産するのに一六屯の炭酸ガスを吸収し一二屯の酸素を放出する。又、アマゾン流域の森林では地球上の酸素の約三分の一を生産し供給して居ると云ふ。従つて森林破壊は大気や水資源の自然のバランスを失はしめ災害の原因を作つて居るのである。

然るにそのアマゾンの開発と稱して雨林を耕地化し、ジャワでは焼畑農業を行い、エチオピアでは高原の森林を失ひ、比島では戦後日本に輸出する爲ラワンを切りつくして失つた（比島では九〇〇〇年、全土の七〇%が森林であつたが一九八〇年には四〇%になつた）。

現在地球全体で一秒間に一エーカー（四千平米）の森林が失はれつづある由。実は我国の陸地面積は世界の〇・二%に過ぎないが、森林の面積は国土の六七%を未だに温存して居る。国内産よりも安價と云ふ事で建材は固定等一次産品の最大の輸入國で、貿易収支は

云ふ迄もなく倒産的な黒字国であり、世界中から羨嫉観を通り越して、憎悪の眼を向かれて居る。NGOと云ふ国際的な民間團体があり、途上国の環境保全、特に植林と造林を実施して居るが、漸く今年から我が國も一億余の補助金を支出する事になつた。之に止まらず政府自らが主導権を取つて金、人、技術を途上国に提供すべきではなからうか。

今や二一世紀の不安な未来に向けて乗り合はせた「地球号」の諸国民はその子孫の爲に大夫大努力を惜しまないであらうが、途上国への資源に深く依存し多くの利益を享受して来た我国こそ地球の自然環境の復活に先頭に立つて活動すべきであると思ふ。また此の仕事こそ近い過去に公害克服の少なからぬ体験があり、農林業に優れた技術を持つのみならず、ODAに於てトップの援助国である我が果がすべき役割であると確信するものである。

因に本文は今年春執筆したもの、今や世間周知の話題で些か而映い気持もしないでは無い。然し九月に政府と国連環境関係者との協議があり、夫を踏えて十月には我国で初の地球環境保全国際議員フォーラムが催され、十一月以降北米と歐州、更にソ連を加えて会議も持たれる情勢となつたので、敢えて一文を寄稿した次第である。

論語雜感 博生 麻

まして、その内容を知られていないと思われる。  
最近、同年代の方々に会うと、異口同音には、「こんな筈ではなかつた」と云う。敗戦後、廢墟と荒廃の中で、この資源乏しい小さな島国で一億二千万人の日本人が生きしていくためには、重化学工業の振興、再建の外には道がないと信じ、この目標に向かって、がむしゃらに、まっしぐらに、人々は働きつづけて来たのです。その結果、日本は世界一の経済大国になり、世界第一の金持ち国になつた。併し、残されたものは、世界の中での孤立化、国際的経済摩擦の惹起、理念を持たない金銭万能の風潮、道徳の退廃がひろがつて了つた論語に「衣食足りて、礼節を知る」とあるが、今の日本人の衣食は足りたが、礼節を失つてはつたよう思える。こんな日本を作るための努力でなかつた筈だと反省し、むなしさを噛みしめている次第である。

に当り、エジプトでは後期王朝の時代で、世界は未だ文明の彼方についた時代だ。今日から見れば、社会構造の違いからそのまま容認出来ないものもある。「女子と小人は養い難し、これを近づければ則ち不遜遠ざかれば則ち怨む」民は山らしむべし、知らしむべからず等々。併し、二五〇〇年もの間、東洋の人々の心の支えとして、生き続けて来た諺語は、今日なお新鮮にして、心を引くものが多くあり、教訓に満々している。

政治について、刑罰の強化のみでは不充分で、「為政者を風とすれば、人民は草のようなものだ、草は風に吹かれれば必ず靡くものである」と。又「政治を徳をもつてすれば、たとえば、北極星がその所にして、すべての星がこれに向うようになびくのだ。」と。

指導者（君子）の守るべきことについて、「ひどいショックを受けたときでも乱暴傲慢に流れてはいけない。正気な顔でいったことは責任を取りなさい。野卑な言葉を出すのを慎みなさい」と。又、嫌う者について「人の欠点を人の前に披瀲する者。自分の劣つていることを棚にあげ優れている人を悪くいう者。向う見ずで無礼を行う者。決断するそばから腰くだけになる者。」そして、指導者に先活性、大局的判断を求めている。「迅速を欲する。小利を求めるな。速やかならんと欲する者は則ち達せず。小利を見れば則ち大事ならず」と。

論語が判り易く親しみ易い例として二、三 次に掲げよう。

# 今月の言葉

アテネ市内のどこからでも望見できるアクロポリスの白亜の殿廟は、今なお往時の流麗な面影を忍ばせているが、ここアテネでは二千数百年前に既に都市国家が形成され、代議院議會が政治を行われてゐることは信じ難い晴らしいことである。——因みにギリシャ文明は奴隸制度に支えられていた——ギリシャ文明と他文明との大きな違いは、その哲学と数学にある。——と思うが、哲学の面では、プラトンやソクラテス等が際立つてゐるが、アルキメデス及び政治体制を繼承発展させ、現代に甦らせた西欧文明は、ギリシャ以来二〇〇〇年の間に徐々に展開して、今日のアメリカ文明として大輪の花を咲かせている。

ギリシャより現在にいたる間、ギリシャ文明は、いかに変遷したであろうか、少なくとも世界では、動物並みの扱いを受けていた。

上字軍の遠征以来の東西交渉により西欧諸国に経済繁榮の現象が生じギリシャへの回帰が始まった。

フイレンツェにおけるビーナス誕生像

したことは特筆すべきことであろう。又、哲学では、人は凡ての中心であり、何人も犯すことのできない人格があるという人間觀は、ギリシヤ哲学の伝統を引継ぐカント、ヘーゲル等の哲學によって打ち立てられた。人類はこれに由り、中世の暗黒時代を思想的にクリアすることができた。この人間のもつ人格権は、フランスに於ては、モンチスキューによる社会契約論となり、さらによし、フランス革命の思想的根据となり

## 西洋文明に輝く人類の英知

の大國として君臨し、議会制民主主義と資本主義を完成させた。アメリカは、英國の植民地として発展したが、次第に力を強め、アメリカにおける建国の英雄たちは、このような人間観に立つて、ここアメリカに人類の理想とする國家を作り上げるべく決意して、ギリシャや二〇〇〇年を掛けた漸進的に発展してきたところの西歐文明をふまえ、自由・平等・博愛を標して立ち上がり、まず、英本国よりの独立戦争

産業革命時代において期待して作られた英の学者が輩出したが、中でも有名な如く、宇宙の構造を説いたアイザック・ニュートンであり、第一次大戦後、相對性原理を発表したアインシュタイン等がいる。第二次大戦後、世界の富はアメリカに集中し、アメリカはまさに現代文明の中心となつた。このアメリカに於ける今世紀最大の中心事業は、宇宙開拓である。中でも人類の月面着陸と今回のボイジャー1-2号による海王星探査が、その白眉である。

今回の海王星の探査は、一〇〇〇年に一回あ

るという木星、土星、天王星、金星、海王星から、宇宙に於て直列する時の狙い。12年と數カ月前に48万キロの彼方にある天王星をめかけホイジヤー1号が發射し、ホイジヤー1号は12月2日月の歳月をかけ、これらの星を次々に探査し、海王星に達した。この間の飛行距離は、実に72万キロメートルと飛び続けることになる。20ルップクスの灯の下、次々と精巧な写真を送り続けた技術及びホイジヤーの飛行等を管理した管理技術等には、まさに現代の最高の科学技術が駆駆使されている。これはまさにアメリカの大事業家、エドワード・スコットやジョン・ショーラン、ジョン・アーヴィング・シュタイン、ガリレオ、ケープラーによるもの、研究の蓄積と相まってのことであるとすれば、まさにこれらのこととは人類の英知の産物と言えるものである。ギリシャ文明に端を発した西欧文明は、今アメリカにおいて、見事な人情の花を咲かせたものと言えよう。(高橋 重廣)

# ～信頼の絆～ 第12回北陸支部総会



十月二十七日、新潟グラ  
ンドホテルにおいて、第十一  
回北陸支部総会並びに懇  
親会が盛大に挙行された。  
来賓として、金子新潟県  
知事（外国出張のため代理  
佐藤出納長）、山下警察本部  
長以下各部長及び幹部、石  
川県、富山県の各警備部長  
飯塚柏崎市長を迎え、機動  
隊員百三十名、会員五百五十  
人が集い、会場は熱気に溢  
れ、終始和やかな雰囲気で  
盛会に行われた。

われた。  
来賓・警察幹部・世話人の紹介後、  
清水世話人の音頭で乾杯をし、懇談に  
移つた。  
会場内一杯にひろがる脈やかな懇談  
が続けられる中、音楽隊の演奏、各団  
機の楽しい寸劇、来賓、世話人の歌謡  
等のアトラクションが繰り広げられ、  
懇談会を更に盛り上げた。  
又、世話人会社の女子社員が多数会  
の運営のお世話に参加していくだいて  
いるが、毎年この会を契機に若い隊員  
とのカップルが数組出来るというほどの



はけまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会  
東京都大田区仲六郷4-32-5  
〒144 五十鈴ビル2階  
発行人 鈴木 寛  
TEL 03(739)0590  
賜説料 年間1,200円(送料共)  
(但し会費の中には賜説料を含む)

社機動隊員等を励ます会  
第12回 北陸支部総会並びに懇親会



えましいお話をあり、なごやかな雰囲気で懇談が行われた。

この式典には、(社)機動隊員等を同  
じます会東北支部から三澤昭郎支部長い  
下五人が出席し、まず、三澤支部長が  
祝辞の中で励ます会の設立経緯を説明  
した後、感謝と激励を行つた。  
更に、式典終了後の懇親会でも柴田  
秀次朗理事が、激励の挨拶をしたほか  
個々の隊員と利やかに懇談した。

## 秋田県警察管区機動隊

私は、夏期休暇を利用して、生まれて初めての海外旅行を体験しました。その国は、昨年ソウルオリンピックが開催された大韓民国です。大韓民国はオリンピックを契機に経済発展を遂げていますが、観光地としてもかなり賑わっていました。その反面、治安情勢は、北朝鮮との対立、活発な学生運動などで緊迫した一面もうかがい知ることができました。

まず空港を出る時、警備の凄さに直面しました。ちょっとと不審な点があると、すぐ私服の警察官が二、三人近寄って来て質問をするといった場面もありました。また、ソウル市内では、学生が集会をしており、激しく

警視庁第三機動隊  
吉村光浩



アジ演説をしているスピーカーの音が響き、その周囲を二百から三百人の機動隊員が警備をしていました。こんな緊迫した中でもソウル市内を往来する一般の人々はあまり関心を示さず、全く普通に日常生活を送っているように見えました。

A black and white illustration of the Statue of Liberty, showing her from the waist up, holding the torch aloft.

皆がナビとしている事は絶対になし  
そうであるが、強い意念が通じたのかガ  
イドさんは私を特別にスラム街へと案  
内してくれました。テレビ等の影響が  
あってか、スラム街には黒人しかいな  
いものだと思っていた私の考えは間違  
いで、多種多様な人々が住みついてい  
るのです。そんな私にガイドさんは、  
「ニューヨークは夢と希望の街です。  
世界中の人々が集まっています。しか  
しそれがすべて成功するはずはなく、  
夢や希望を失った時人々は魔の手に導  
かれ犯罪へとつながるのです」と話し  
てくれました。なるほどと思つた私は  
同時に背中に寒気を感じました。現在  
経済大国として名高い日本ではありま  
すが、いざれこのニューヨークのよう  
に世界中の人々が、夢や希望を求めて  
集まってきたとするならば、日本の治  
安情勢にも大きな変化が生じてしまう

二ユーヨークで感じたこと  
（アメリカ）

警 視 庁 第 六 機 動 隊 小 城 義 明



私は、六月十九日から二十六日までの八日間、新婚旅行として、ニューヨーク・ワシントン・カナダを回つてまいりました。今回この旅行を計画した意図は、妻の希望もさる事ながら実際は、自分たちとは異なる生活習慣や物事の考え方、更には治安情勢を自分の目で見る絶好の機会であると思つたからです。片道一三時間という飛行機での長旅を終え、まず二ユーヨークへたどり着きました。自山の国アメリカを象徴する大都市二ユーヨーク、街中にぎやかな雰囲気は明るい人柄の一つの現われでもあります。ただ世界一の犯罪都市という汚名も忘れる事は出来ません。その中でも有名なスマム街。通

のであり、国家は国民を、国民は国家をといった互いの信頼から生まれるものであると思いました。

私は今回の旅行を通じ、日本人の人として、そして治安を守る者の一人として、今後一層世界情勢に目を向けて、今以上にもっと広い視野を持つ事が必要不可欠な事であると感じました。

警視庁第六機動隊

事は避ける事が出来ない事実です。世界に誇る安全な国日本もいつしかこのニューヨークの様になつてしまふのではないかという恐怖感を、私はこのニューヨークで思い知らされました。

次に警備上の相違として、ちょうど官庁街にあるのがワシントンです。アメリカの政治経済の中心らしく、国會議事堂、ホワイトハウス、各國大使館など、ほとんどのものが日本のそれと同じ様に集中しています。しかし唯一かつ最大の違いは、警備に従事する者の姿がほとんど見あたらない事です。日本の官邸にあるホワイトハウスに二名、大使館などには全くいないのです。これは「人民の、人民による」といったアメリカの国家意志に基づくものであり、国家は国民を、国民は国家をといった互いの信頼から生まれるものであると思いました。

私は今回の旅行を通じ、日本人の人として、そして治安を守る者の一人として、今後一層世界情勢に目を向けて、今以上にもっと広い視野を持つ事が必不可少的な事であると感じました。

初めて体験する海外旅行は、今年四月、期待と不安が入り混じった気持ちはで、新妻と共に成田空港を飛び立ち、七日間ニューカレドニアへの旅に出掛けました。十数時間の飛行機の旅もそれほど苦にならず、楽しい思い出の二つとなりました。着陸したヌメア空港では、華麗な踊りと歌での歓迎を受け、機内での疲れなど一瞬にして吹き飛んでしました。

# 「ニユーカレドニア」 弓削 博之 警視庁第六機動隊

事は避けた事が出来ない事実です。世界に誇る安全な国日本もいつしかこのニューヨークの様になつてしまふのではないかという恐怖感を、私はこのニューヨークで思い知らされました。

次に警備上の相違として、ちょうど官庁街にあたるのがワシントンです。アメリカの政治経済の中心らしく、国會議事堂、ホワイトハウス、各國大使館など、ほんどのものが日本のそれと同じ様に集中しています。しかし唯一かつ最大の違いは、警備に従事する者の姿がほとんど見あたらない事です。日本の官邸にあたるホワイトハウスに二名、大使館などには全くいないのであります。これは「人民の、人民による」といったアメリカの国家意志に基づくものであり、國家は国民を、国民は国家をといった互いの信頼から生まれるものであると思いました。

A black and white line drawing of two palm trees standing on a small, sandy island. The trees have thick trunks and large, spreading fronds. In the background, there are low hills or mountains under a clear sky.

“あつ”という間のユーチュアードニア七日間の旅でしたが、現地の人々の生活をこの目で見そして、自然そのものに触ることができ、忘れる事のできない素晴らしい体験をするとともに銳気を十分に養ってきました。いつの日か再び訪れることを楽しみに、治安の維持に全力を挙げたいと思つております。



上昇、据え膳 提直人  
いざなぎ景気を上廻る大型景気が続いています。世界一の債権国、飽食の時世は、食うや食わずの生活、額に汗してきた体験者からみれば、羨しい氣持と、果していつまで続くだらうかと複雑な心境になります。資源のない日本にとって、勤勉な国民が唯一の資源、強力な資源でありましたし、今後も変りないと思います。勤勉の中味は、より頭を働かせて工夫するやり方になります。

今年の新卒の採用戦線は、年々エスカレートしてきていますものの、それでも正常とは思えません。マスコミ、口コミで伝えられている姿は、おぞましい気持になります。

企業が人を選ぶ時代とのギャップフレーズがあるように、明るく、楽しく、休みが多くて高賃金しかもやりがい、生きがいがある職場に人が集まるのは人情でしょう。経営者としても、社員の生活向上、より生きがいのある職場へと、日夜腐心しているのですが、向

上策を実施しても、当り前のことと受け取られ勝ちです。

極端な例で、新入社員に車一台をプレゼントする会社がありましたが、この経営者は非常に倒産、廃業が出はじめている。昨今の世相からみれば、生き残りを賭して実施した心情は察せられ

# 読者の広場



ます。  
どの企業、組織も、優秀な人材を求めています。人材格差の時代といわれようになつてきています。

学生を拘束しての3S(ステーキ・酒・ソープラン)、内定会社の数を競う学生、需給の原則からみれば、一見、普通のこととなりましょう。

しかし、上昇、据え膳で入社した者にとって、暫くして、企業経営の厳しさに愕然とするでしょう。入社前と入社後の落差を埋める頭の切り替え、努力の不足する者には、当世流行のト

ラバーハンの響は心地良く聞えると思いまます。

権利には、必ず義務と感謝が表裏一体の関係にあるという当たり前のこと

があるが、権利への主張のみが肥大化しつつある風潮が気にかかります。

四十二年間経営してきた者の繰り言であれば良いのですが。

## 一休 雜感

博

「一休」なる仮名草子が刊行されたのは江戸初期であったが、以来その頃、智談は様々な形で庶民の間にひろがり、子供達のアイドルとなつて、一休さんは童話的な親しみをもたれている。

又、私共に馴染み深い田辺カントリーワークは、一休寺(翻恩庵)がある。

一休が晩年に住んだ所で、禅寺特有の清楚なただ住居である。一休八十一才、新興場の町人、更に巾広い庶民の支持をうけていたため、後土御門天皇の勅請が特別にあつて、第四十七世大徳寺住持に就任、戦乱で焼失した大徳寺の再建を立派に果した。一休は大徳寺には住まず、この庵を離れないで、所用の度毎に八里の道を京まで通つたと云う。清廉な高僧のイメージが私を捉えていた。

十年程前、名著といわれている水上勉氏の「一休」を読んだ。氏独特的の粘りこい筆運びで様々な資料を駆使し、



一体の実像に迫り、内向的なうういういまでの純真な救道一途の青年時代。世の中を自由奔放に生きた野人の面影をたんねんに画いている。

「釋迦」という、いたずら者が、世にい

て、多くの人を惑わすことなく、乱世の中を自由奔放に生きた野人の面影をたんねんに画いている。

「女をば法の御くらといふぞげな」  
「釋迦も達磨もひよいひよいと生む」

私は驚きと理解の出来ぬ人物への魅力から様々な一休伝を読んだが、一休を近代人に重ねて、その近代的面影をみるようになつてから、一休が判るよ

うな気がしてきた。

一休は今から六〇〇年前、応仁の乱を前後して、中世史の最も乱世の色を濃くしていた暗黒時代、又、下剋上の時代に八十八才の生涯を送った。彼の生涯中、戦乱十五カ年、飢饉十一カ年、悪疫流行十二カ年、大風六カ年、洪水六カ年、旱魃二カ年、地震三カ年、一揆二十六カ年、が記録されている。

「四條大橋上より上流を見ると、流死無数、石の塊が多く積み重なつてある

よう、流水をふさぎ、その死臭あたるべからず」とある。京の餓死者だけでも八万二千人、地方は察するにありあり。地獄の時代の地獄を体験の中

で、満身創痍の血みどろの救道生活を命がけで貰いた一休の生涯はすさまじいものであつた。

一休は生れながらにして數奇である。

一休は、悪いのは淫犯肉食の行為でなく、むしろ事實を覆い隠そうとする偽善の心だといい切る。「淫坊(娼家)十載、興窮まり難し、残生白髪、なお色に淫す」。禪僧らしさを保とうとする心とげに心の無きものを悟るとは何の悟りなるらん

に入る。二十七才大悟し、印可を授けられるが断る。後日、再度送られるが焼き捨てたとも云われる。形式を嫌つともいう。極端な例をあげれば、開祖大燈國師の法要の際の漢詩に「大勢の坊主達がしきりに經を読んで、美

り、家中一物もなく、口を開けば空々と説く」と。官制化された禪僧の腐敗、民衆を忘れた室町幕府をじつと見つめた。

「大風洪水、万民憂う、歌舞管弦、誰が夜遊びぞ」苦しむ万民を外に、金閣銀閣を創設、北山、東山文化を謳歌している室町幕府とその周辺を批判している。

「大風洪水、万民憂う、歌舞管弦、誰が夜遊びぞ」苦しむ万民を外に、金閣銀閣を創設、北山、東山文化を謳歌している室町幕府とその周辺を批判している。

又、「法を説き、禪を説きて、姓名を挙ぐ、人を辱しむる一句、聴きて聲をのむ」と当時の仏門が法を説きながら、その門闇にこだわることを批判している。

又、堺の街で、朱鞘の大太刀(中身は木)をたばさんで横行し、人を驚かせた。「今時、僧侶はみんなこの太刀のようだ。外見だけは斬れるようだが、その門闇にこだわることを批判している。

又、堺で、正月、禪體をかざして、御用心、御用心、「いづれ人皆かくならではおくまじ」と。

権威にも屈しなかつた。宗教界に干渉を好んだ將軍義持が突然寺を訪れる。

一休は問題の絹布の掛け物を手に、玄関の式台の上から立つたまま、直接渡そうとする。随行者が無礼とばかり中に入り受け取ろうとすると、「アカンベ」をして引き下つたという。

私が長い間、理解に苦しんだものに

女性関係がある。

一休は、悪いのは淫犯肉食の行為でなく、むしろ事實を隠すとする心だといい切る。「淫坊(娼家)十載、興窮まり難し、残生白髪、なお

色に淫す」。禪僧らしさを保とうとする心とげに心の無きものを悟るとは何の悟りなるらん



隱棲している堅田の純粹禪僧華叟の門

き方であるとする。そして、娼家を「風流愛すべし、美の粧い。多情愛すべし」という。極端な例をあげれば、開祖大燈國師の法要の際の漢詩に「大勢の坊主達がしきりに經を読んで、美

人とすばらしい情事を楽しんでいる。にうるさくて邪魔でしようがない。情事を終えてから、寝床の中で睦言を交しながら、宋の慈明大師の色好みである事を思ひ出して笑つた」がある。慈明は迎えで帰つたが、一休は迎えが

た。事終えてから、寝床の中で睦言を交しながら、宋の慈明大師の色好みであつた事を思ひ出して笑つた」がある。慈明は迎えで帰つたが、一休は迎えが







連続するであろうが、常に、三つの新しい念頭に、精闢六機の底力を思う存分に發揮したいと思う。

### 警視庁 第七機動隊

「一に訓練、二に訓練」



宮原 武史

西空に聳える雄大な富士山を

御舎の窓から押し、全身に生氣

が漲つてくる緊張感を覚えながら予想されるなど厳しいものが

今年の治安情勢は、極左暴力集団のテロ、ゲリラによる反乱

室蘭暴争や成田空港一期工事阻止

闘争が昨年以上に激化すること

が予想されるなど厳しいものが

あつた中で、治安維持の「最

後の砲」として信頼を受ける機

動隊の責任は重い。同時に、機

動隊は常に、最強の精鋭部隊で

なければならぬと痛感せら

れる。

着隊以来、いつ、いかなる事

態に直面しても、自信とゆとり

を持つて迅速的

に對処でき

る能力を備えた精強な部隊は平

素の厳しい訓練の積み重ねによ

つてのみ培われると肝に銘じて

いる。

今年も隊員ともども一丸とな

つて、一に訓練、二に訓練に励

み、活氣にあふれた精強七機

のさらなる躍進を圖るべく努力

する所存である。

警視庁 第八機動隊



櫻井 惟士

警衛・警護警備は構築の世界である。切れ目なく続く警衛・警護警備の実施の中で、一度失敗すると、過去の栄光をも含め、全てが○になってしまつたり、取られたりして最終合戦の多い方が勝ちとなる。足し算の世界のスポーツとは根本的に違うのである。だから、絶対の世界でもある。

諸外国の機動隊のように失敗をしても車隊が治安警備に出動することが許されるところとは日本は国情が違っている。

我が機動隊は、最後の皆

の現場を数多く踏んでいると、各隊にはそれぞれ得意とする警備が出来てくるものであるが、自分達の最も得意とする種類の警備を失敗することのないよう

に、今までに増して研さんを積み、一日一日を念じて警備にのぞみ、都民の期待に応える一年

といだした。

警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続いている。おり、その完全な封じこそ、平穡な生活を望む国民の期待に応えるものであり、警備のプロとしての機動隊に課せられた責務である。

従つて、何時いかなる困難な状況に直面しようとも、自信とゆとりをもつて迅速的確かに反応できるよう訓練を重ね、技術の向上と強健な体力、気力の養成に努力していくしかない。

本年も年頭から重要な警衛・警護警備が切れ目なく続くなつた。特に、治安の底流をなす内外の諸情勢は大變に厳しく、特に今秋の予定されている「大嘗祭・即位の礼」を焦點とする極左暴力集団の反皇室・平和行動のおそれが一段と強くあり、予想されることが多いために、警視庁は年頭からその動向には予断をゆくがない。

警視庁 第八機動隊

「一日一日を念じて」

警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

「心をこめて意欲的に」

飯牛 稔敏男

当隊は、平成元年という意義ある年に創設二十周年を迎えた。

それはまさに激動の歴史である。創設設立時の機関にて果敢な先輩たちの活動から「疾風の九機」と呼ばれ、それが受け継がれて

よき伝統となっている。機動隊の任務も、社会情勢の変化に伴って大きく変わってきた。表面的には一見平穡に見え

る今日、極左暴力集団のテロ、

ゲリラ情勢は依然として続くなつた。外任・術科の合格一泊の旅、寮祭、最愛の伴侶を得て、また苦い反省と教訓もある。半身も隊員ともども一丸となつて、一日一日を念じて、警視庁 第九機動隊

## は ま げ し

昨年は、昭和から平成へと時代の流れを感じながら各種警備に従事した年がありました。当県は、昭和天皇御崩御にはゆかりの深い葉山御用邸を管轄しており、警備に従事した年はありました。昨年にも増して厳しい警備情勢が予想され、正に機動隊の真面目な間われる年になると思います。

我が第一機動隊は横浜の地に「若鷹」の隊旗の下、三〇有余年の歴史と伝統を持ち、過去幾多の試練を乗り越え数多くの教訓を得てあります。この教訓の中から昨年は「融和團結」、自己啓発、「治安のプロ」の三重点で、忠直に任務を遂行する忍耐力が必要です。これを乗り越えた部隊は強くなるもので、この意味からも今年は、精強な部隊づくりに向かう一層努力精進していく所存です。

昨年は、川崎市のはば中央、中原区木月の地において産声をあげ、今年で成人式を迎えることになりました。

周辺の環境はすばらしく、文教地区の中にあって、なごみ、水川と緑に包まれ、隊員は川沿いを走ることを日課とし、警備訓練はもちろん柔剣道にも汗を流す毎日です。その成果は、駆逐隊員が一致団結してあらゆる事



渡辺 勇紀



渡邊 利明

新潟県警察機動隊  
「精強な部隊をめざして」

平成元年中における当隊の出動は、大喪の礼に伴う警備、献血活動等多くにわたり、各現場で初期の目的を達成してきた。平成二年も、日々変化する社会の動きと共に様々な現場への出動が予想される。

我が隊は、川崎市のはば中央、中原区木月の地において産声をあげ、今年で成人式を迎えることになりました。

周辺の環境はすばらしく、文教地区の中にあって、なごみ、水川と緑に包まれ、隊員は川沿いを走ることを日課とし、警備訓練はもちろん柔剣道にも汗を流す毎日です。その成果は、駆逐隊員が一致団結してあらゆる事

案を想定しての訓練を重ね、強い部隊となること以外にはない

と信ずる。

隊員前のグランドには、多く

の先輩の汗と涙がしみ込んで

いる。それらの条件を満たしたときこそ我が隊が、率然そ

のものとして人々の眼に映るの

であるまい。

隊員が、その責任の重要性を深く認識し、「備えあれば防いだ」と

いふ想いがある。隊員一人ひとり

が、警備を生み、昨年の全日本剣道選手権大会で優勝勝し

た伊藤六段も健在です。

文武両道を目指す隊は、昇任試験合格もアップであり、「学

の二機」として、優秀な人材を

多く輩出しています。

昨年は、如何なく力を發揮し、

特に、八月一日未明発生した

崎市高津区蟹ヶ谷における崖崩

事案においては、救出作業中の

隊員が二次災害に遭遇し土砂に

埋まつたが、自ら或いは他の隊

員に救出された後も、不安と危

険に敢然と立ち向かい、土砂に

のみ込まれた消防隊員二名を

救助し、その活動と県民からの

暖かい声援を新聞紙上において

報道されたことは記憶に新しい

ところです。

我々は、警備実施のプロとして

体力・気力の鍛錬に、そして

一人の社会人として内調な常識

を身につけるべく本を読む習慣

をつけることに力点を置き、日々

精進を重ねています。

本年は平年です。駆馬は一日

に千里を走り、駆馬は一日一里

しか走ることができなくて、もう

一日の駆馬を凌ぐことによって、駆

馬も駆馬を凌ぐことになります。

今後も、日々の努力と継続を糧

に活躍されることを祈念いたし

ます。

昨年の汗を血となし肉とな

すよう一層努力精進していか

いと思います。

神奈川県警察第二機動隊  
「駆馬も駆馬を凌ぐ」

新年あけましておめでとうございます。

我が隊は、川崎市のほか中央、

中原区木月の地において産声を

あげ、今年で成人式を迎えるこ

とになりました。

周辺の環境はすばらしく、文

教地区の中にあって、なごみ、文

川と緑に包まれ、隊員は川沿い

を走ることを日課とし、警備訓

練はもちろん柔剣道にも汗を流

す毎日です。その成果は、駆逐

隊員が一致団結してあらゆる事

案を想定しての訓練を重ね、強

い部隊となるため、さらに心

技、体の充実を図り、生命を守

った現場でも一致団結して打ち

勝ち、その使命を果たすこと

ができる精強な部隊の育成に努

めました。

春の定期異動で機動隊長を命

ぜられ、着任後間もなく、久々

に成田空港警備に出動した。

空港内外の変遷の景観を見て

驚くとともに久しぶりに駆馬

練習の集会「デモ」を行った

結果、身の引きしまる思いが

した。

今年も不透明な時代を反映し

て、治安情勢は極めて厳しいも

のがあり、こうした情勢の中で

我々機動隊の果たす役割も更に

秋山 勝彦

大金六連霸、戦闘剣道大金三連覇、逮捕術大金二連覇とい

輝かしい伝統を生み、昨年の全

日本剣道選手権大会で優勝勝し

た伊藤六段も健在です。

昨年は、数多くの警備現場に

出動し、如何なく力を發揮し、

多くの我々の汗と涙を流して訓

練に励み、訓練では共に泣き、

現場では共に笑える精強な部隊

づくりに努めていた。

また、部隊訓練に併せて多種

多様な事業を展開して、レンジジャー、

舟艇、アクリアラング等専門部隊

訓練も一層強めていきたい。

また、若き隊員が遠く戍

長し、除隊した後も機動隊で養

われた実力が發揮されると共に

一生の良き思い出となる機動隊

であるよう今年も努力していき

たい。

今までもなく、部隊にとつ

て最大の名譽は重要な任務を

与えられることが多い。

そこで、その任務が困難であ

ればあるほどこれを全うしたと

きの尊びは大きき、隊員個々の

自信につながり、部隊の士気を

鼓舞することができる。

昨年は、「治に居て、私を忘れ

な州軍閥を目指している。

長野県警察機動隊 勇

長野県警察機動隊 在存

クとし、訓練に汗を流し、精強

な部隊となること以外にはない

と信ずる。

隊員前のグランドには、多く

の先輩の汗と涙がしみ込んで

いる。それらの条件を満たしたときこそ我が隊が、率然そ

のものとして人々の眼に映るの

であるまい。

隊員が、その責任の重要性を深く認識し、「備えあれば防いだ」と

いふ想いがある。隊員一人ひとり

が、警備を生み、昨年の全

日本剣道選手権大会で優勝勝し

た伊藤六段も健在です。

文武両道を目指す隊は、昇任

試験合格もアップであり、「学

の二機」として、優秀な人材を

多く輩出しています。

昨年は、如何なく力を發揮し、

特に、八月一日未明発生した

崎市高津区蟹ヶ谷における崖

崩れ事案においては、

救援活動も困難な状況で、

救助活動も困難な状況で、





らと考えていたが、結局は勝つことが先行し、そのチャンスはないものと断念していた。たして監督は、大事な試合に若手を送り込んだ。実に見事であった。試合ぶりは、実に見事であった。

私は、これらの試合を通じ、それぞれにチャンスがあれば、それを活かすチャンスを思い切って与えてやるべきことを痛感した。

平成二年は「年」、私自身年男である。

本県では、「植樹祭」「旅博覧会」、全国的には「即位の礼」「大嘗祭」と治安上重要な課題が山積みしている。

こうした機会を最高の出番とすることが、平成二年時における機動隊の努めであると考える。

熊本県警察機動隊  
「精銳部隊をめざして」  
井本 浩

本県機動隊は、平成元年といふ記念すべき年に創設三周年を迎えた。この激動の三年を顧みると、三井川池河争議警備、「自衛隊沖縄配備阻止闘争警備」、熊本大学生協闘争警備等々、諸先輩が残された業績は多く、また、艱難辛苦に耐えながら動かざる「忍耐」の精神は、今なおお魂魄として、若い隊員の心に継々と受け継がれている。

我が隊は、いかなる不測の事態にも、冷静沈着、積極果敢に対処し得る精強な警備部隊の育成を図るために、訓練で泣いて、現場で笑え、を合言葉に、全隊員が一丸となつて、汗にまみれ、泥にまみれながら、日夜厳しい訓練に励んでいるところである。まさに、まるで勇氣の競争をして行っている。

最後に、本年の隊運営の重点を、

一、精強な警備部隊の育成

二、事実即応体制の確立

三、士気の高揚と團結の強化

と銘記し、孫子の兵法にいう「常

山の蛇のごとく、「強い機動隊」をめざして精進し、もつて県民の期待と信頼に応えていく所存である。

大分県警察機動隊  
「今こそ融和団結を」  
竹中 正憲

昭和の三〇年代、四〇年代を経験した者にとっては、最近の平靜さが別世界のことのように思える。

かつては、春秋の労働争議のシーズンともねば毎日のようにはデモ警備等に追われ機動隊員は文字通り月火水木金金だった。

ところが今や、デモと規制の両面について指導しなければならない実情にある。

外敵のある時は内部の結束は高まるが、平穏だとささいなことについてでも警備等を生むるというのが社会の常である。

ところで、極左暴力集団は、本年秋の皇室行事等に向けて過激な動向を増幅するであろうが、彼等との決戦に際して互いを守るのは互い以外にはない。

このことを肝に銘じて今こそ隊員相互の融和と團結に努め難局に対処したいものだ。

宮崎県警察機動隊  
「自分をしごく」  
北蘭 博章

我が隊のシンボルマークは、宮崎県警察機動隊「限界を乗り越え一步前進」

このことし、警察に課せられた最大の任務は、即位の礼、大嘗祭に伴う警備警備であろう。

多くの国民は、全国の警察が一体となって最善を尽くすことを見切っている。我々は、総力をあげてその期待に応えなければならぬ。

わが隊も、精強にして知的のレベルの高い機動隊を目指し、○冷静沈着

○融和团结の隊訓のもとに、全隊員がすべて而て昨年より一段上のレベルに達するよう、一日一日の訓練、勤務に励むことにしている。

さあ、今年は、昨年にも増して厳しい治安情勢が予想されるが、最後の勝たる我々は、治安維持の任務遂成に向けて、さらに奮闘できるよう鍛錬努力をして行きたい。

本年も、昨年よりも増して厳しい治安情勢が予想されるが、最後の勝たる我々は、治安維持の任務遂成に向けて、さらに奮闘できるよう鍛錬努力をして行きたい。

私が隊は、いかなる不測の事態にも、冷静沈着、積極果敢に対処し得る精強な警備部隊の育成を図るために、訓練で泣いて、現場で笑え、を合言葉に、全隊員が一丸となつて、汗にまみれ、泥にまみれながら、日夜厳しい訓練に励んでいるところである。まさに、まるで勇氣の競争をして行っている。

最後に、本年の隊運営の重点を、

一、精強な警備部隊の育成

二、事実即応体制の確立

三、士気の高揚と團結の強化

と銘記し、孫子の兵法にいう「常

と記し、孫子の兵法にいう「常

# 今月の言葉

史と最も長いいざなぎ景気をも凌駕する  
だらうと言われる勢いの絶好調の経済界、  
一方、親を殺す子、子を棄てる親、成田  
工事阻止のハネ上りが青年達、節約を知  
らぬ子供達、そつ云う相を観ていると  
将に世紀的なベシミズム、唯物主義、  
享樂主義の到来を想わせる。  
そこには文化的秩序としての「礼」も  
ない、「義」が軽んぜられて利に走り、力  
が「徳」をねじ曲げる。

十九世紀の末期、歐州で此の世紀末の  
現象が蔓延したと云われているが、新し  
い世紀が始まると云う場合には斯如き現象が起  
るのだろうか。

明治維新的推進力となつた下級武士達  
の骨髄を形成して居たのはおそらく儒教  
であつたと思う。武士道と言つてもよい。

く反動理論だと云われていたが、決して  
そうではない。四書の中でも特に論語は  
現実の社会に於ける人間の身の処し方の  
理想を現実化しようと努力し、実行した  
ものと思う。人生哲學書である。

●子曰く、「学びて時に之れを習う、亦  
た説（よろこ）ばしからずや。友有

易経、詩經、春秋、書經、禮記、特に論  
語の青少年に与えた影響は計り知れない  
ものがあつたであろう。戦後日本を混乱  
の中から立ち上がりさせたのも此の儒教的  
訓の賜であつたのではないかと思う。

職後一時論語などと云うのは民衆を欺  
く可し。

●子貢問いて曰く、「一言にして以つて  
終身これを行ふべきものありや。」子  
曰く、「其れ恕（じよ）か。己の怨せ  
ざる所は、人に施す勿かれ。」  
(怨とは思ひやりであり、忠恕の忠は  
まことの心を云う)

之等の言葉は多くの方々は御存じであ  
らう。「論語読みの論語読まし」の諺の通  
り、我凡人は仲々寒衣出来ない。しかし  
し「論語読ましの論語知り」と云う言葉  
もある。「子、怪力乱神を語らざ」の通  
り、知らないことは知らないと云うのが  
知つてることで、知つたぶりするな  
と云うことは論語を読まなかつた先輩か  
ら教えられたことである。「論語読まし」  
論語知りが機動隊にも勵ます会にも沢  
山居るから、まだまだ日本の国は大丈夫  
であろう。

「日日是好日」（にちにちこれこうにち）

碧巻録の言葉だそうであるが一日一日

を誠と情熱と理想といやりを持って大

切に生きよう。

（中村 貞夫）

# 論語読まずの論語知り

# 警備に明け 警備に暮れる 新春初詣警備 今年も万全



休日返上、機動隊のみなさんご苦労さま

— 全国隊員総出の雑踏警備 —

自衛ムード明け

昨年比四〇〇万人以上の人出

昨年の自衛ムードから

一変して、平成初の初詣

は、昨年を大きく上回る

人々が全国の神社・仏閣

に参拝した。

今年は三が日、好天に

恵まれたことも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろこ）となつて

平穏な正月の幕開けの

年始はない。

隊員たちには、年末

恵まれたこととも手伝つて

忠まされたこと

この一年の幸せを願う善

男善女の参拝の列は絶え

ることがなかつた。

機動隊員達の新年は、

毎年この雑踏警備で明け

年始はない。あるのは、

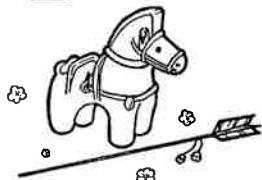
國民の安金を守るという

強い意志である。

黒子（くろ

# 年男 平成二年を語る

## 平成元年が明けて平成二年は午年。～警視庁～ 一氣に飛び跳ねて其駄のよきは



様々な出来事の続いた平成元年も終わ  
り、無事新年を迎えることが出来た。年  
男である私にとつてこの人生の大きな節  
目である年をいかに過ごしていくかの抱  
負はいろいろあるが、まず、今年から待  
ちうけている巡回部長昇任試験に精一杯  
努力したいと思う。

それでもう一つは仕事における技術の  
向上である。私は昨年、念願であった特  
科中隊に入ることができた。特科中隊と  
は、部隊の機動力をより一層發揮するた  
め、機動隊になくてはならない車両の運

服部和弘

平成元年が明けて平成二年は午年。元気に飛び跳ねる若駒のように、雄々しく大地を駆けぬける駿馬のように、今年も機動隊員は走り続けます。今月号では警視庁の午年隊員の方々に今年の抱負を語っていただきました。

二年は午年。  
のように、  
ける駿馬の  
員は走り続  
視庁の午年  
を語って

転操作とある程度の整備を行つて中隊で使之し警備活動を行うのが任務である。与えられた任務を確実に遂行するためには大切な事は数多くあるが、その中でも様々な種類の警察車両を運転するために必要な運転技術の向上は、私にとって正面の課題である。また、車両を確実に動かすために必要なのは運転技術だけではなく、機械の構造や地理にも精通していなければならぬのである。特科中隊員の私にとって、先輩から厳しい指導を受ける毎日であるが、得ることは大きいく、大切なもののばかりであるので毎日がとても充実している。

これからも先輩から吸収したいこと、学ぶべきことは山ほどあるが、それらを一つ一つ身につけ、価値ある一年にしようと考へている。

警視庁第二機動隊



人健木手茂

早いもので今年は私も二十四歳、年里である。一つの人生の節目、大躍進の年となるよう力強く草原を走る馬の如く、そして着実に邁進する年にしたいと考えている。

警視庁第四機動隊



桐原 志  
(昭和43年4月3日生)

の二ーズに応える警察官になる為にはまだ力不足だと考える。私は、こんな思いから、今年を昇任試験勉強の年とする事を誓う。勉強は自己向上させるだけでなく、スペシャリリストとして、自信を持つて仕事にあたる為にも必要不可欠である。人生の一つの節目となる記念すべき年を、後悔するところなく過ごす為、ただ努力精進するのみである。

「待機中私が勉強している姿を見たら、決して話しかけない様に。」と同僚にお願いしているところである。

警視庁第六機動隊



滝口哲也

思い出し、始めは一日二〇分から三〇分のジョックク。次に一時間、二時間とペースを守り、少しづつ時間を増やし、高度な練習をするようになりました。このことは、昇任試験の勉強もあてはめられます。始めは少しづつ毎日机に向かうようにして次第に時間を延ばすようにすれば、内容も理解できる様になると思います。

昇任試験に向けての勉強も、マラソン同様、地道に毎日こつこつとやってこそいい結果が出るのでです。とても大変なことですが、勝つためには必ず一度は地道です。

一九九〇年は、マラソンで勝ち得た勝利と自信を遺憾なく發揮し、巡查部長昇任試験合格という輝かしい栄冠を勝ちとるため、又、勝利者としての喜び、感激をものにするために日々精進する所存で

警視庁第七機動隊



山内 実

様々な出来事の続いた平成元年も終わるに、無事新年を迎えることが出来た。年男である私にとってこの人生の大きな節目である年をいかに過ごしていくかの抱負はいろいろあるが、まず、今年から待ちうけている巡回部長昇任試験に精一杯努力したいと思う。

それでもう一つは仕事における技術の向上である。私は昨年、念願であった特科中隊に入ることができた。特科中隊とは、部隊の機動力をより一層發揮するため、機動隊になくてはならない車両の運

なつてきている。オフィスオートメーション、ホームオートメーション等々、異常なスピードで進歩している。警察社会も同様である。なかでも機械に仕事をとられ、あるいはロボットに仕事をとられるという声を聞く。しかし、私が選んだこの警察という仕事は、人を相手にした血の通った執行務が必要であり未来も口ボットに任せ事が出来ないものの一つであり、誇りを持つて情熱をぶつけられるやりがいのある仕事である。だが残念ながら新時代の要請にそつて、多くの都民

本年の干支は「午年」私の年です。率  
配後の三年間本部特練員として、全国大  
会に優勝することのみを目標にして走り  
続けてきましたが、昨年はその目標も達  
成しました。本年は年男ということを二  
つの区切りに、新たな気持ちで二連勝を  
目指して走る事はもちろん、警察官とし  
ての知識を一つでも多く身につけようと  
思います。

残ったものはマラソンただ一つでした。その結果、かせながらやつてきました。一つの自信にもつながりました。

この一年間を振り返ってみると、九月に行われた国家公安委員長の機動隊視察をはじめ数々の展示訓練に参加をし、見る人を感じ動かせるまでにいたつることは頃であります。

この一年間を重ねたモンキー渡りも信じられない程に上達しました。また、昨年の習志野自衛隊派遣訓練には指導員として参加することができ、秋にはレンジャー小隊の第二組長を命ぜられ、その責任の重さを一段と強く感じてゐるこの頃であります。



# 読者の広場

人・物・人

柴田 秀次朗

平成元年も残すこと数日、今年はと

りわけ中小企業にとっては、人手不足に追れる年であったと思ふ。

二十数年前であったが、或る建設業者が大工、鉄筋工の養成所を持つていたが、卒業しても安定した働き口がなく、しまいに入所希望者が少なくなってしまった。

今考えるとこの時期に存続のために何らの方策を考えて対処しておけば、だつたと思ふ今日今頃である。

戦後四十数年間、日本は欧米に追いつけ追い越せと、その産業構造の変革は目を瞠るばかりであった。全て大量生産、コストダウン、と消費拡大の方

向へと進んで来た。その結果は人、物、人、の関係を薄くし、物の価値観を低下させたのではないだろうか。從来の日本人は、心のこもった物を造ることに、高い価値觀をいだいていたはずである。俗に言う「職人芸」である。家

具や調度に於ては「末代物」と言つて代々愛用されたものである。

今の世の中は使い捨ての時代である。「物」になってしまっている。

消費者サイドに於ても「造る人」に対する感謝の気持すらなくなつて來ているのではないだろうか。社会のこのような風潮がますます「専門職」の減少に拍車をかけて今まで残されて來た

専門職の集團を少なくしてしまつてゐるのではないだろうか。このようなことは政治が解決はしてくれない。我々国民の一人一人がその生活の中で「人・物・人」の関係の大切さを教え、学びながら認識を深めて行くようにするこれが大切なことだと思ふ。

今の日本人はあまりにも平和になれすぎてしまい、その平和を守るためにその陰で日夜心命を賭けて努力されている機動隊員等が居ることも忘れさつてゐるのではないだろうか。

## 児玉源太郎

麻生 博

江ノ島。江ノ島神社の前を左に折れると、島を囲むように細長い参道がある。奥に小さなながら、格調高い神殿造の社がある。児玉神社である。全島観光化された中に、ここだけが昔ながらの風情を保つてゐるのが救いである。

児玉源太郎に引かれ、異様な程関心をもつたのは、司馬遼太郎の「坂の上の雲」を読んだ時だ。ベストセラーであつたので、お読みになつた方も多いと思うが、圧巻は旅順二〇三高地攻略のところである。満州軍は遼陽の戦争に勝つたが、尚補強されつゝあるロシヤ軍と沙河に対陣している。強大なバルチック艦隊は日本に近づきつつある。旅順のロシア東洋艦隊は今はお健在であり、日本の国力は限界に達しつつあつた。旅順攻略は將に日本の運命の岐路にあつた。乃木將軍の第二軍は数万人の死傷者を出しても、攻略出来なかつた。児玉は、十一月一日金州につき、異例の乃木に代つて指揮権を発動、戦術転換を計り、重砲隊の移動をし、五日一時間二十分で二〇三高地を占領、

日本の國力は限界に達しつつある。児玉は功を乃木に譲り、未だ使えて、新型が発表されるとは何の抵抗もなくすぐ捨ててしまう。元来の「物」になつてしまつてゐる。児玉の内蔵された「物」でなく單なる「物」になつてしまつてゐる。

消費者サイドに於ても「造る人」に対する感謝の気持すらなくなつて來ているのではないだろうか。社会のこのような風潮がますます「専門職」の減少に拍車をかけて今まで残されて來た

現実的合理的な野人で、飾らない行動で終始し、見栄を張ることがなかつた。豊臣秀吉の性格をも想起させるが、秀吉と異なつて人間最大の弱点である虚吉心など全くなかつた。彼が死去した後、全く貯えがなく、陛下から特に御下賜金があつたという。

児玉の一生を素描しよう。児玉は長州徳山藩百五十石の家に生まれるが、五才で父を失う。義兄が跡を継ぐが、俗論党により暗殺、家名断絶、高杉晋作のクーデター後、家督をつぎ復活する。十七才で奥羽戦争、函館戦争に参加、帰つて兵学寮に入る。二十三才、

児玉中尉は、佐賀の乱・神風連の乱で功績をあげるが、敵弾を受け重傷をうけている。二十六才、児玉少佐は西南戦争に参加、熊本城に籠城する。

十三年児玉中佐は、第二連隊長となつて佐倉に住む。時の渾名は「木鼠」といわれた程、小艇で機敏であった。乃木希典第一連隊長との対抗演習でも児玉が勝つた。「何事も機軸(希典)の生き乃木に、「乃木の戦さ下手」といつた

十九年、日本陸軍はフランス式から独乙式へ大転換を計り、独乙軍人メックルを招聘する。児玉大佐は、臨時軍制度審査委員長として、歩兵操典の改訂、師団司令部、旅團司令部設置、微兵令の改訂等々軍政の大改革を断行する。

二十五年、児玉少将は第二次伊藤内閣、大山陸軍大臣の下に陸軍次官になる。二十三年、第一回帝国議会で民党的力は強く、予算の大削減にあり、軍艦製造と製鋼所設立は否決された。軍艦製造は、内廷費の御下賜金と文武官の俸給一割納付で補助することで解決し、製鐵所設置は、彼の案で海軍省より農商務省提案に代えることにより、遅れて二十九年、八幡製鐵所の官制が公布された。戦争準備は達成されつづけられた。

二十七年、日清戦争、大本營が広島に置かれたが、山陽電鉄は糸崎まで、東部隊の移動が困難であった。彼獨特の強引さで督促し、出征兵士の品出港の前に廣島まで開通させていた。凱旋軍の検疫が問題となつた。臨時陸軍検疫部を設置して、後に内務大臣帝都復興總裁として昭和通りを作つた後藤新平を据えた。戦勝にわ

く将兵が検疫を嫌つたので、児玉は征被されたので、全員これに従つたという。清大總督の小松宮に「消毒設備がありますので陛下に拝謁する前に何ぞ」と言い、殿下が真つ先に検疫を受けられた。臨時陸軍検疫部を設置して、後に内務大臣帝都復興總裁として昭和通りを作つた後藤新平を据えた。戦勝にわ

く将兵が検疫を嫌つたので、児玉は征被されたので、全員これに従つたという。清大總督の小松宮に「消毒設備がありますので陛下に拝謁する前に何ぞ」と言い、殿下が真つ先に検疫を受けられた。臨時陸軍検疫部を設置して、後に内務大臣帝都復興總裁として昭和通りを作つた後藤新平を据えた。戦勝にわ

く将兵が検疫を嫌つたので、児玉は征被されたので、全員これに従つたという。清大總督の小松宮に「消毒設備がありますので陛下に拝謁する前に何ぞ」と言い、殿下が真つ先に検疫を受けられた。臨時陸軍検疫部を設置して、後に内務大臣帝都復興總裁として昭和通りを作つた後藤新平を据えた。戦勝にわ

く将兵が検疫を嫌つたので、児玉は征被されたので、全員これに従つたという。清大總督の小松宮に「消毒設備がありますので陛下に拝謁する前に何ぞ」と言い、殿下が真つ先に検疫を受けられた。臨時陸軍検疫部を設置して、後に内務大臣帝都復興總裁として昭和通りを作つた後藤新平を据えた。戦勝にわ

く将兵が検疫を嫌つたので、児玉は征被されたので、全員これに従つたという。清大總督の小松宮に「消毒設備がありますので陛下に拝謁する前に何ぞ」と言い、殿下が真つ先に検疫を受けられた。臨時陸軍検疫部を設置して、後に内務大臣帝都復興總裁として昭和通りを作つた後藤新平を据えた。戦勝にわ

く将兵が検疫を嫌つたので、児玉は征被されたので、全員これに従つたという。清大總督の小松宮に「消毒設備がありますので陛下に拝謁する前に何ぞ」と言い、殿下が真つ先に検疫を受けられた。臨時陸軍検疫部を設置して、後に内務大臣帝都復興總裁として昭和通りを作つた後藤新平を据えた。戦勝にわ

## お知らせ

◎名古屋支部総会の開催

平成二年二月二十七日(火)

午後五時三十分より

「郵便貯金会館」に於いて

尚、先月号のお知らせで開催時

刻を「五時」とお知らせ致しましたが、「五時三十分」に変更に

なりましたので、お間違いにな

いようお願い致します。

奮つてご参加の程、お待ち申し

上げます。

○先月号六頁の大坂府警察第一機動隊 田中基二氏の文章の題名を「常在の戦場」と記載しましたが、「常在戦場」の誤りですが、「常在戦場」の誤りです。深くお詫び申し上げます。

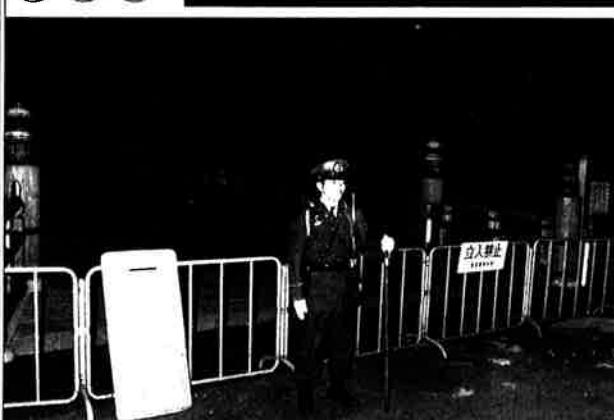


# 今月の言葉

# 防圧徹底警戒

# はげまし

過激派  
派  
ゲ  
リ  
ラ



## 極左暴力集団の動きに懸念

今秋に予定される「即位

の礼」「大嘗祭」を今年の最

大闘争課題に挙げ、にわか

に極左暴力集団の動きが活

発になっている。

一月八日夜 東京渋谷の

常陸宮邸付近と京都市上京

区の京都御所で、ほぼ同時

に、爆発音とともに、金属

弾のようなものが発射され

る事件が起きた。

いずれもケガ人や建物への

被害は幸いにしてなかつ

たもの過激派による反皇

室ゲリラとみて徹底的に捜

査が行われている。

ここ最近の警備事象は、

その大小にかかわらずいつ

発生するか予断を許さない

局面をむかえている。

月の完成を目指しております。千葉県は

東京都に隣接していながら、ぐるり回り

込んだ海岸線によって隔てられ、とくに

房総地域は東京と相当の距離を感じざる

ことをかみつけたが、この横断道路建設計画

が、今、隣接県へ移動を始めたかに見え

ます。我がふるさと千葉も頼みますれば東京

として高度成長を文えて発展しましたが、

その様相も年々変わりつつ、すでに県内

では首都機能の分散化の役割を演じてい

ます。一方千葉県木更津市と神奈川県川崎市

を直接陸路で結ぶ東京湾横断道路構想も、

すでに起工式が行なわれ、一九九六年四

## 万全の厳戒体制で

過激派各派はこれまでの成田空港反

基軸にして、成田空港反対闘争をから

める戦術転換を狙っていると言われる

いる。

ゲリラ多発のなかで使用される武器

は年々高度化してきており、先般の使

用された爆発弾も車の後部トランクに

備えつけられた金属製の発射筒からの

ものであった。また 警視庁公安部は

一月二十九日未明、埼玉県大宮市内の

アパートにおいて革労協狭間派のアジ

トを捜索し、厚さ一・二センチのベニ

ヤ板を貫通する未完成新型強力爆弾十

五個と、时限式上下二連の散弾銃等約

五千点を押収したが、これらは嚴重な

警備の隙を狙つての事象であった。

こうした「テロ」「ゲリラ」等を含

め、今後も過激な行動に出てくること

が必至の情勢を睨んで、各機動隊はそ

の防圧検挙のため、日夜職務質問・検

索など徹底した厳重警戒に乗り出していく

が必至の情勢を睨んで、各機動隊はそ

の防圧検挙のため、日夜職務質問・検

&lt;p

# 年男 平成二年を語る

～警察庁～



今年一年は常に緊張した状態で、息を抜く間も無い日々が続くであろうが、いかなる困難も克服して我々に課せられた任務を完遂することで治安維持に微力ながらも貢献できるよう、そして警察の警衛警備は立派であったとの称賛が得られるように努力したい。

## 九州管区機動隊

**大戸龍太**  
(昭和41年10月24日生)

平成二年、新年を迎えるあたり、年男として二つの目標を立てた。

第一は、気力、体力の向上である。管区機動隊員として三年目を迎え、沖縄固体・成田空港・大喪の礼警備等多くの出勤を経験した。その中で私は、気力を充実し、体力に自信をもつて職務を全うすることによってこそ、部隊に課せられた任務を完遂できるのだと思感した。

そのため、「訓練は実戦の如く、実戦は訓練の如く」の精神で常に真剣勝負の気概をもつて訓練を取り組み、より層層力、体力を充実させていきた

いと思う。

第二は、平常心を保つということである。

平常心とは、いかなる苦境に立たされようとも常に心を落ち着かせ、冷静な判断を行うということである。

平常心を保つには、日頃の心身の鍛練と知識の涵養等に裏打ちされた「自信」を持つことであり、それが、職務を完遂することにつながると信じ日々研鑽に努めたいと思う。

今年も、年明け早々、成田空港警備を皮切りに、全国植樹祭・とびうめ国体等出勤も予定されている。年男としての私達が為すべきことは、言ふ極左暴力集団の「テロ」「ゲリラ」対策、そして右翼問題等我々を取り巻く情勢は極めて厳しいものがある。

このような状況の下で、管区機動隊員としての私達が為すべきことは、言ふ限り、あらゆる事案にも対応し得る強力な部隊作りをしていかなければならぬ。そして実出勤において、日頃の訓練の成果を一〇〇パーセント發揮できる実力を身につけることが必要だと

引き続き、今機会に各道府県の方々の年男は活動場所です。平成2年元月は活動登場にいらっしゃい。

## 四国管区機動隊

**中原和彦**

(昭和41年5月2日生)

激動の昭和から平成へ、時代の波は確実に動きつつある。昨年は中国の天安門事件、東欧諸国の民主化等世界は大きく揺れ動き、そして九〇年代に入した。

平成二年を迎えた日本は、一一月に行われる「即位の礼」「大嘗祭」に向けての準備が確実に進行している反面、関連行事の警戒警備、大嘗祭粉砕を叫ぶ極左暴力集団の「テロ」「ゲリラ」対策、そして右翼問題等我々を取り巻く情勢は極めて厳しいものがある。

このような状況の下で、管区機動隊員としての私達が為すべきことは、言ふ限り、あらゆる事案にも対応し得る強力な部隊作りをしていかなければならぬ。そして実出勤において、日頃の訓練の成果を一〇〇パーセント發揮できる実力を身につけることが必要だと

思う。

## 北海道警察機動隊

**杉田正**

(昭和41年5月9日生)

輝かしい新春を迎え、活動と不透明な一九九〇年の幕開け。飛躍の年とするため、気持ち新たに、次の三点を念頭におき努力して行きたい。

第一は、「体力の強化」である。

私の勤務する特務中隊第三小隊は、山岳水難救助、レンジャー等と、特殊任務を一手に受け持つ小隊で、人一倍

も克服できるよう日頃から積極的に自己トレーニングに励み、筋力、持久力をつけるなどして、執務にその力が發揮できるよう努めて行きたい。

第二は、「知識の涵養」である。

我々の使命は、あらゆる現場において、多種多様な事案をいかに迅速的確に処理して行くかである。

そのためには、常に問題意識を持ち、事案処理に必要な各種関係法令、措置法等を研究し、それを自分のものとして執務に役立てて行きたい。

第三は、「気力の充実」である。

逆境に立たされた時、それに打ち勝つ精神力こそその人間の持つ強さと思う。

今後は、フルマラソン挑戦や柔剣道を通じ精神面の強化に努めて行きたい。

以上三点を平成二年度の目標とし、熊部隊の一員として邁進して行く決意である。

精神力こそその人間の持つ強さと思う。

我々機動隊員の訓練にしても同じことをいえると思います。我々は何のために訓練をするのか、何故しなくてはならないのか。この事をよく考えて懸命に訓練すれば、修得は早いと思いま

ねられないのか。この事は決して簡単に行つてもそこからは何も得ることはありません。レンジャー、レスキュー、潜水等これらについて全員が工

事に取り組んでいく覚悟であります。

本年は私の干支である「午年」です。

私の生まれた昭和四十一年は「午」の中でも「丙午」(ひのえうま)という年にあたる。「丙」は火の児(ひのえ)の意で、「午」が「正南」を示すことから、この年には火災が多いとされ、また、この年に生まれた女性は夫を短命

にするという迷信がある。そんな迷信者にとって全く迷惑なことである。

私としては、これを全身から炎を発し、軽やかに跳躍して突き進む「燃える馬」と解したい。勝手な解釈ではあるが、機動隊員として四年目を迎えるため、気持ち新たに、次の三点を念頭におき努力して行きたい。

第一は、「体力の強化」である。

私の勤務する特務中隊第三小隊は、山岳水難救助、レンジャー等と、特殊

任務を一手に受け持つ小隊で、人一倍

も克服できるよう日頃から積極的に自己トレーニングに励み、筋力、持久力をつけるなどして、執務にその力が發揮できるよう努めて行きたい。

第二は、「知識の涵養」である。

我々の使命は、あらゆる現場において、多種多様な事案をいかに迅速的確に処理して行くかである。

そのためには、常に問題意識を持ち、事案処理に必要な各種関係法令、措置法等を研究し、それを自分のものとして執務に役立てて行きたい。

第三は、「気力の充実」である。

逆境に立たされた時、それに打ち勝つ精神力こそその人間の持つ強さと思う。

今後は、フルマラソン挑戦や柔剣道を通じ精神面の強化に努めて行きたい。

以上三点を平成二年度の目標とし、熊部隊の一員として邁進して行く決意である。

精神力こそその人間の持つ強さと思う。

我々機動隊員の訓練にしても同じことをいえると思います。我々は何のために訓練をするのか、何故しなくてはならないのか。この事をよく考えて懸命に訓練すれば、修得は早いと思いま

ねられないのか。この事は決して簡単に行つてもそこからは何も得ることはありません。レンジャー、レスキュー、潜水等これらについて全員が工

事に取り組んでいく覚悟であります。

本年は私の干支である「午年」です。

私の生まれた昭和四十一年は「午」の中でも「丙午」(ひのえうま)という年にあたる。「丙」は火の児(ひのえ)の意で、「午」が「正南」を示すことから、この年には火災が多いとされ、また、この年に生まれた女性は夫を短命

## 福岡県警察第一機動隊

**中村洋一**

(昭和41年7月17日生)

から、統計的に見ても、この年の出生数は少ないという。この年に生まれた者にとって全く迷惑なことである。

私としては、これを全身から炎を発し、軽やかに跳躍して突き進む「燃える馬」と解したい。勝手な解釈ではあるが、機動隊員として四年目を迎えるため、気持ち新たに、次の三点を念頭におき努力して行きたい。

第一は、「体力の強化」である。

私の勤務する特務中隊第三小隊は、山岳水難救助、レンジャー等と、特殊

任務を一手に受け持つ小隊で、人一倍

も克服できるよう日頃から積極的に自己トレーニングに励み、筋力、持久力をつけるなどして、執務にその力が発揮できるよう努めて行きたい。

第二は、「知識の涵養」である。

我々の使命は、あらゆる現場において、多種多様な事案をいかに迅速的確に処理して行くかである。

そのためには、常に問題意識を持ち、事案処理に必要な各種関係法令、措置法等を研究し、それを自分のものとして執務に役立てて行きたい。

第三は、「気力の充実」である。

逆境に立たされた時、それに打ち勝つ精神力こそその人間の持つ強さと思う。

今後は、フルマラソン挑戦や柔剣道を通じ精神面の強化に努めて行きたい。

以上三点を平成二年度の目標とし、熊部隊の一員として邁進して行く決意である。

精神力こそその人間の持つ強さと思う。

我々機動隊員の訓練にしても同じことをいえると思います。我々は何のために訓練をするのか、何故しなくてはならないのか。この事をよく考えて懸命に訓練すれば、修得は早いと思いま

ねられないのか。この事は決して簡単に行つてもそこからは何も得ることはありません。レンジャー、レスキュー、潜水等これらについて全員が工

事に取り組んでいく覚悟であります。

本年は私の干支である「午年」です。

私の生まれた昭和四十一年は「午」の中でも「丙午」(ひのえうま)という年にあたる。「丙」は火の児(ひのえ)の意で、「午」が「正南」を示すことから、この年には火災が多いとされ、また、この年に生まれた女性は夫を短命

ことである。そのためには集団警備力の向上、体力の鍛成、装備の充実等を図り、あらゆる事案にも対応し得る強力な部隊作りをしていかなければなりません。そして実出勤において、日頃の訓練の成果を一〇〇パーセント發揮できる実力を身につけることが必要だと悟である。

これまで、昭和六十二年、六十三年、西日本社会人リーグ昇格を目指す部員とともに汗を流して来た。

これまで、昭和六十二年、六十三年、西日本社会人リーグ昇格を目指す部員とともに汗を流して来た。

今年は、私自身年男という節目の年であり、初心にかえり、同じ機動隊員である大阪府警ラグビー部を手本とし、一にも二にも努力し西日本への壁を突破したいものである。

最後に、今年は福岡国体の年であり、西日本社会人リーグ昇格という目標とともに、ラグビーで養った気力、体力、團結力を持って集団警備力の中核部隊として警備の万全を期す覚悟である。

◎札幌支部総会の開催  
平成1年3月5日(月)

午後六時より

「札幌パークホテル」に於いて開催することに決定致しました。奮ってご参加のほど、お待ち申し上げます。

お知らせ



## 東海レバーラー鋼業株 鏡開き武道大会開催される

去る平成2年1月8日、東海レバー鋼業㈱体育館において、機動隊・新日本製鐵㈱・東海レバーラー鋼業㈱の剣道部・柔道部員百名が参加しての鏡開き武道大会が開催された。この武道大会は10年以上前から行われている恒例の行事で、当時は、東海レバーラー鋼業㈱松本会長による模範演技の披露、続いて剣道及び柔道の個人戦と団体戦が行われ、団体戦は接戦の末、剣道・柔道とも新日本が優勝を飾った。

引き続き行われた納会では、機動隊員による余興等で大いに盛り上がりを見せ、機動隊と会員との輪がまたひとつ広がった。



▶機動隊選手による柔道模範演技  
機動隊誓歌を合唱◀



## 婦警特機をよろしく! ~婦人警察官特別機動隊~

警視庁第二機動隊  
小岩警察署  
巡回設樂克子(22才)

平成元年11月25日

☆出身地 群馬県  
☆警視庁第二機動隊入隊日  
平成元年11月25日  
(婦人警察官特別機動隊)

第13期編成要員

☆習い事 習字

☆好きな言葉 「克己心」

☆好きな作家 三浦綾子「塩狩峰」

☆婦人警察官を選んだ理由

小学生の時、チャイコフスキイの「剣の舞」という曲を聞いた時、直感的に警察官が犯人を追いかけているイメージを持ち、それ以来何かと警察官を意識するようになり、正義の味方として

私は婦人警察官特別機動隊員として

この警備に従事できることを光栄に思

い、立派に完遂できるよう頑張りたい

と思います。

で、期待と不安が入り混じっています。

今年は札幌殿下のご婚礼、即位の礼、

太嘗祭等、警視庁を挙げての大警備が

予定されています。

私は婦人警察官となり、毎日駐車違反

取締り等忙しい日々を送っています。

婦警特機は昨年11月に入隊したばかり

で、期待と不安が入り混じっています。

今年は札幌殿下のご婚礼、即位の礼、

太嘗祭等、警視庁を挙げての大警備が

予定されています。

私は婦人警察官特別機動隊員として

この警備に従事できることを光栄に思

い、立派に完遂できるよう頑張りたい

と思います。

で、期待と不安が入り混じっています。

今年は札幌殿下のご婚礼、即位の礼、

太嘗祭等、警視庁を挙げての大警備が

予定されています。

私は婦人警察官となり、毎日駐車違反

取締り等忙しい日々を送っています。

婦警特機は昨年11月に入隊したばかり

で、期待と不安が入り混じています。

今年は札幌殿下のご婚礼、即位の礼、

太嘗祭等、警視庁を挙げての大警備が

予定されています。

私は婦人警察官となり、毎日駐車違反

取締り等忙しい日々を送っています。

婦警特機は昨年11月に入隊したばかり

で、



## 今月の言葉

立春はとおに過ぎたと、いうのにこのところ連日の様に雪が降つて余寒が続いている。北海道着任以来三回目の冬になる不思議なもので、当初多少泣き言を申していた愚妻も、冬の過ごし方に慣れて来だのか、この地に長く住みたいと言い出す始末で、この次は逆单身赴任を強いるれそうにある。

北海道開拓の歴史はそれ程長くない。道内第二の都市旭川が今年開基百年祭、札幌は約百十年、いずれにしろわが国の最長寿の方の年令に満たないのである。私の住んでる札幌市は人口百六十三万人を超えなお増え続けている。短い間に大きな街になつたものだと感心している。旺盛な開拓者精神に支えられて、今日があるのであろう。札幌はサッポロベツ（乾いた大きな川）と呼ばれ、熊や鹿が横行する原野にすぎなかつたものを整然とし

バイオニアについては前述の通り理解していただけれどと思うが、ボランティア活動も極めて盛んなのがこの北海道である。中学生諸君が一人住いの老人の道路の雪かきをしたとか、大工・左官・建具屋など皆さんが休日を返上して困窮者の住居の修理をしたとか、この類のニュースは常に耳にすることが出来る。まだ

バイオニア精神とボランティア精神

とした都市計画のもと開発が進められ、今日の大札幌が出現したのである。この札幌もしくは北海道に相応しい言葉として「ハイオニア」と「ボランティア」を選んでみた。いま流行の日本語大辞典によると、前者は開拓者・先駆者、後者は民間奉仕者・自発的に社会福祉活動を行ふ人びと、とある。

名古屋支部総会盛大に  
暖かい支援に隊員の決意も固く



参加者三百五十名

「会の輪がさらに太く大きくなる

は  
け  
ま  
し

発行所

社団法人 機動隊興等を励ます会  
東京都大田区仲六郷4-32-5  
丁目44 五十鈴ビル2階  
発行人 篠木 實  
TEL 03(739)0590  
購読料 年間1,200円(送料共)  
(旧1会員の中に購読料を含む)

## 第15回名古屋支部総会



赤木愛知県警察本部長挨拶

持を全うする使命を強く心に秘めており、そうした彼等を陰ながら支援す  
る。当会が彼等の心の支えの一部となつてゐると多くの隊員達が口を揃えて言  
っている。

第十五回を迎えた名古屋支部総会。これからも隊員達が、たくましく成長していくことを念願すると共に、会のさらなる充実と発展を強く願うものである。

## 大合唱

警視庁  
強者が勢揃い  
警視庁警備部武道始式  
(第一回機動隊対抗柔剣道大会)

去る二月二十日、警視庁恒例の警視庁警備部武道始式（第一回機動隊対抗柔剣道大会）が警視庁術科センター内の警視庁武道館にて開催された。

そして最高潮に盛り上がる中、全昌輪になり、「この世を花にするために、合唱、鈴木県警機動隊長の謝辞、席生常任理事音頭の万歳三唱があり、会となつた。

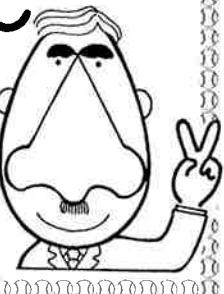
合は実力伯仲の熱戦である。

訓綱

日頃の訓練の成果が  
激しくぶつかる



# うちのお父さん



日頃は闘志をむき出しに厳しい訓練に明け暮れ、警備現場においては冷静沈着な姿勢でのぞむ機動隊員。そんな機動隊員らのもうひとつの横顔、それは家庭での父親としての顔です。隊員の皆さんはそれぞれの家庭でどんなお父さんぶりを發揮しているのでしょうか。

でも、お父さんは、とつてもうれしそうでした。あまり行かなかつた、けい古もよく行くようになりました。今まで、お父さんは、学校のいろいろな行事もありこられなくて、つまらなかつた。でも、この前のピアノの発表会と学校の学芸会を、つづけて見に来てくれた時は、とつてもうれしかつた。お父さんが

「上手だつたよ。がんばつたね」  
と言つてくれました。やつぱりお父さんが見に来てくれた方が、がんばれま

「た時は、がつかり。飛んだ時は、  
もう、今日は、ジャンボ尾崎なみだ  
よ。プロゴルファーになろうかなあ」  
と、きょくたんな、じょうだんを言う。  
ぼくたちはそれを、  
「本当？」

まには遊んでほしいなあと思う時があります。  
あまりおこられないようにするので  
お願いを聞いて下さい。  
「夏休みに、旅行につれて行つて」  
といふ、ば(達)のこら、建康二

あそんでくれる時は、めったにないからキヤツチボールやサッカーをしてあそんでもらいたいです。

休みの時、高尾山に行きリフトにのつたりして楽しかった。まだまだいろいろな所へ行きたいです。ぼくと休みがいっしょの時、つれていってくだ

◇◇三木 香里（小四）

お父さんは、仁事かしらかしくて  
あまり休みが、とれないようだけど、  
夜早目に帰つてきた時は  
「つかれた、つかれた」  
と言いながら、剣道や居合を武道館や  
体育館にやりに行きます。  
私は、剣道をおととの四月にやり  
始め、妹は去年の六月から始めました。  
でもお父さんのけい古している剣道の  
クラブと私達のかよつているクラブは  
ちがいます。本当は、お父さんといつ  
しょにやりたいのですが、おとうさんは、「いつしょにやらない方がいいよ」  
と言っています。

この前、市の剣道大会の団体試合が  
あつたので、お母さん達と応援に行き  
ました。お父さんは、小手を決めて勝つ  
たけど、一回戦で終つてしましました。

青木一憲（小五）

「じゃあ、行つてきまーす！」  
朝、六時ごろお父さんの声が聞こえた。  
まだこんなに早いのに、ぼくは思った。  
いつもお父さんは、六時ごろ出かけて  
いるそうです。ぼくは、「こんなことは  
できない！」とつくづく思う。刑事の番  
組はテレビで、よく見る。ピストルを  
うつたり尾行をしたり、大変そうだつ  
た。お父さんは、かつている鳥にえさ  
をあげたり、野鳥を庭に集めたり。や  
さしい所は少しある。おこるとこわい。  
いつも夜、

「いつしょにねようよ」

「やだよ」

「と言う。するとお父さんは泣くまねを  
する。旅行にはよく連れていくてくれ  
る。海でまっ黒に焼ける。ぼくたちは  
皮をむく。プリプリとむく。最近はゴ  
ルフを始めているようだ。飛ばなかつ

◇◇松永学（小四三）

ほくのお父さんはおこりんぼうう父さんです。うそをついたり、悪い事をした時はすごくおこります。とくにぼくと弟はよく大声でケンカをしていると、どなられて正座させられます。弟は正座をしながらねむる事がよくあります。

中学生のお姉ちゃんはあまりおこられません。お姉ちゃんはしかられるような事をしないからだと、お父さんは言います。

お姉ちゃんがうらやましいと思います。

やすたつよし(小三)

ぼくのお父さんは、朝早くから夜おそまで仕事をがんばっています。ぼくと休みがあまりありません。  
お父さんが、仕事をしているのをぐうぜん見たことがあります。せいふくをきていてかっこよかったです。ぼくしもにあつてました。

ふだんの夜いつもパソコンをしています。ぼくの勉強もみてくれます。くわしく教えてくれます。そして、おふろが、大きさです。お父さんとおふろに入るとせなかをあらつてあげます。この間、ようむいんのおじさんみたいに電気スタンドを直しててくれた。うれしかつたです。



「…たしかに、かほりお父さん  
と言つてくれました。やつぱりお父さん  
が見に来てくれた方が、がんばれ  
す。

(四機) 青木中隊長の長男  
んだろう。



士となるんだろう。

❖ 藤崎 豊和(小四)





